skvam / 鳞 / 「魚のうろこ」を表す代表的な簡体字(伝統形:「鱗」) / 初出。魚偏(「鱼」)を含み、画数はやや多いが専門的意味を最も端的に示す。

1. delfen / 海豚 / イルカの標準的な漢語表現(「海」+「豚」) / 初出。1文字で「豚」とすると「ブタ」と誤解されるため、2文字熟語「海豚」を採用。
2. leon / 狮 / ライオンの簡体字表記(伝統形:「獅」) / 初出。日本語「獅子」との対応も比較的想像しやすい。
3. elefant / 象 / 象を意味する代表的な簡体字(日中で同形) / 初出。画数は多めだが、象そのものを指す単字として定着。
4. kastor / 河狸 / ビーバーを指す一般的名称(「河」+「狸」) / 初出。中国語でビーバーは「河狸」が一般的。1文字では適訳なし。
5. azen / 驴 / ロバを意味する標準的な簡体字(伝統形:「驢」) / 初出。日本語の「驢馬」と近いが、簡体表記は「驴」。
6. mul / 骡 / ラバを意味する簡体字(伝統形:「騾」) / 初出。同じく馬偏を含み、ロバの「驴」と同様に簡体化。
7. boa / 蟒 / ボア(大型のヘビ)を指す1文字表現 / 初出。中国語では「蟒蛇(蟒)」が大蛇の意。ここでは短縮形「蟒」を採用。
8. pavian / 狒狒 / ヒヒを意味する既定の2文字熟語 / 初出。単独「狒」はあまり一般的でないため、慣用形「狒狒」を選定。狮(ライオン)同様「犭」偏を含む。
9. kobaj / 豚鼠 / モルモットの一般名(「豚」+「鼠」) / 「海豚」で使用した「豚」を再利用。新たに「鼠」を導入。
10. marmot / 土拨鼠 / マーモット(ウッドチャック)に対応する一般的名称 / 「鼠」を再利用。日本語直訳すれば「土をかき分けるネズミ」的な意味合いでわかりやすい。
11. dog / 獒 / マスチフの漢語表記(特に「藏獒(チベタン・マスチフ)」の「獒」) / 新出の単字。猛犬を指す文字として定着している。
12. vipur / 蝮 / マムシ(クサリヘビ科)を指す代表的な1文字 / 新出。「毒蛇」などより正確にマムシを指す。虫偏(「虫」)を含む。
13. mustel / 鼬 / イタチを示す単字表記 / 新出。中国語・日本語でも「鼬」はイタチ類の総称として使われるが、やや専門的漢字。
14. meduz / 水母 / クラゲの一般的な呼称 / 新出。2文字だが画数は比較的少なく、「海蜇」より汎用的。日常でも用いられる。
15. mitul / 贻贝 / イガイ(ムール貝)を指す標準的な呼称 / 新出。単字で示す語はないため、2文字熟語で対応。やや画数多め。
16. omar / 龙虾 / ロブスターを指す代表的名称(「龍蝦」の簡体) / 新出。日本語「龍蝦(リュウカ)」に相当。手軽な2文字表記。
17. histrik / 豪猪 / ヤマアラシを指す一般的名称 / 新出。「猪」の再利用も考えたが、本来「豚」とは別字。「豪猪」が既成の標準表現。
18. teni / 绦虫 / サナダムシ(条虫)のうち特に「絛虫」とも書かれるが、簡体では「绦虫」 / 新出。医学用語で一般的。
19. lumbrik / 蚯蚓 / ミミズに対する標準語 / 新出。いずれも虫偏(「虫」)を含む2文字。単字では表せない。
20. molusk / 软体动物 / 軟体動物(全般)を指す分類学上の標準表記 / 新出。4文字と長いが、中国語ではこれが定訳。
21. fok / 海豹 / アザラシの標準呼称 / 「海豚」の「海」を再利用。新出は「豹」だが、「海豹」が最も一般的。
22. talp / 鼹鼠 / モグラの標準呼称 / 「鼠」を再利用。「鼹」は新出。2文字でモグラを明確に示す。
23. vespert / 蝙蝠 / コウモリの標準的2文字表現 / 新出。中国語ではコウモリを単字で書く習慣はなく、「蝠」だけでは曖昧。
24. salamandr / 蝾螈 / サンショウウオ(サラマンダー)の一般的名称 / 新出。両生類の用語として定着。2文字とも虫偏を含む。

koral / 珊瑚 /

* + 選定理由: 「珊瑚」は中国語でも日本語でも同形・同義であり、サンゴを代表する熟語として認知されている。
  + 学習コスト: 一文字で「珊」「瑚」とするより熟語「珊瑚」の方が馴染みがあると判断。

1. didelf / 负鼠 /
   * 選定理由: 「負鼠(负鼠)」は「フクロネズミ (opossum)」の中国語呼称の一つ。
   * 学習コスト: 「鼠」は後続で多用予定なので再利用メリット大。「负」は新出だが比較的画数が少ない部類。
2. sorik / 尖鼠 /
   * 選定理由: トガリネズミを直訳的に「尖い(先の尖った)ネズミ」とし、簡略表記にしたもの(実際の標準中国語では「鼩鼱」などが用いられる)。
   * 学習コスト: 「鼠」を再利用し、新出の「尖」は画数が少ない。
3. miogal / 麝鼠 /
   * 選定理由: 「麝鼠」は「ジャコウネズミ」(muskrat等)を指す中国語名として通用する。
   * 学習コスト: 「鼠」を再利用。「麝」は画数が多めだが「ジャコウ(麝香)」の意味合いがわかりやすい。
4. hamstr / 仓鼠 /
   * 選定理由: 「ハムスター」の標準中国語。「仓」は倉庫を意味し、頬袋で餌を貯め込むイメージとも対応。
   * 学習コスト: 「鼠」を再利用。「仓」はシンプルな漢字。
5. mamut / 猛犸 /
   * 選定理由: 「猛犸(象)」はマンモスを指す中国語表記(略称)。通常は「猛犸象」と三文字だが二文字の「猛犸」でも通じる。
   * 学習コスト: 新出の「猛」「犸」だが、どちらも比較的構成が分かりやすい(「犭+马」など)。
6. pul / 蚤 /
   * 選定理由: 「蚤(のみ)」は古くから「ノミ」の意で使われる単字(現代口語では「跳蚤」)。
   * 学習コスト: 一文字で完結するため、画数増を抑えられる。
7. hirud / 蛭 /
   * 選定理由: 「ヒル」は中国語で「水蛭」ともいうが、一文字「蛭」だけでも指し得る。
   * 学習コスト: 「虫」偏を含む新出文字だが、一文字で完結。
8. putor / 鼬 /
   * 選定理由: 「polecat」はイタチ科に属し、中国語では「鼬(yòu)」が総称として近い(スカンク＝「臭鼬」等)。
   * 学習コスト: 「鼠」偏の一種。「鼬」は新出だが一文字。
9. mops / 巴哥 /

* 選定理由: パグ犬の中国語名として「巴哥(犬)」が用いられる。
* 学習コスト: 「巴」「哥」はどちらも比較的画数が少なめ(ただし新出2字)。

1. pudel / 贵宾 /

* 選定理由: プードルは中国語で「贵宾犬」と呼ばれ、「贵宾」だけでも通じる。
* 学習コスト: 新出の「贵」「宾」だが、中国語学習初級レベルでも比較的目にする機会はある。

1. kapreol / 狍 /

* 選定理由: 「ノロ(roe deer)」は中国語で「狍(páo)」「狍子」などと呼ばれる。
* 学習コスト: 「犭」偏＋「包」で構成され、比較的シンプルな一文字。

1. rinocer / 犀牛 /

* 選定理由: サイの中国語名。略して「犀」だけでもサイの角等を連想するが、誤解を避けるため2文字を採用。
* 学習コスト: 「犀」はやや画数多めだが、「牛」は初出ながら非常に画数少ない。

1. alk / 驼鹿 /

* 選定理由: 「オオシカ/エルク/ムース」は中国語で一般に「驼鹿」と呼ばれる。
* 学習コスト: 「驼」は馬偏＋「它」。新出の「鹿」は後にも出現する可能性大(シカ類で)。

1. link / 山猫 /

* 選定理由: オオヤマネコ(lynx)を端的に「山猫」で表現(厳密には「猞猁」だが画数が多い)。
* 学習コスト: 「山」は最少クラスの画数。「猫」は「犭+苗」で11画とやや多め。

1. vulp / 狐 /

* 選定理由: キツネを示す単字「狐」。日本語でも「こ(狐)」の旧字体が近く、直感しやすい。
* 学習コスト: 「犭」偏＋「瓜」。そこまで画数は多くない。

1. lepor / 野兔 /

* 選定理由: 野ウサギ(hare)の中国語は「野兔」。
* 学習コスト: 新出「野」(11画)＋これ以降のウサギ系でも出る「兔」。

1. kunikl / 家兔 /

* 選定理由: イエウサギ(家ウサギ)をそのまま「家兔」。
* 学習コスト: 「兔」は既出(17番)。新出「家」だが他動物(家畜)表現でも再利用可能。

1. testud / 龟 /

* 選定理由: 「カメ」は簡体字「龟」で表す(伝統的には「龜」)。
* 学習コスト: 一文字。画数は7画で抑えめ。

1. ran / 蛙 /

* 選定理由: カエル(frog)は中国語で「蛙」または「青蛙」。一文字「蛙」でも十分通じる。
* 学習コスト: 「虫」偏を含むが一文字で済む。

1. lacert / 蜥蜴 /

* 選定理由: トカゲの標準中国語。単字「蜥」や「蜴」だけでは意味が通りにくいため2文字採用。
* 学習コスト: 2文字とも虫偏。「昔」「易」で構成されるが、画数やや多め。

1. sciur / 松鼠 /

* 選定理由: リスの中国語標準。「鼠」を再利用し「松」のイメージ(松林にいるリス)。
* 学習コスト: 新出「松」(8画)＋既出の「鼠」。

1. mus / 家鼠 /

* 選定理由: ハツカネズミ(house mouse)として「家鼠」。
* 学習コスト: 「家」は既出(18番)、「鼠」は繰り返し利用。

1. rat / 老鼠 /

* 選定理由: ネズミ(大きめ)全般を指す最も一般的表現。「老鼠」。
* 学習コスト: 「老」は新出だが6画、「鼠」は再利用。

1. panter / 豹 /

* 選定理由: ヒョウ(レオパード)は通常「豹」の一文字。パンテラ属全般でも「豹」で総称しやすい。
* 学習コスト: 一文字でわかりやすい(やや画数はあるが、熟語化せず済む)。

### 1) hipopotam

swift

Copy

hipopotam/河马/「カバ」を指す中国語の標準表記/「河」は川辺のイメージ、「马」は馬部首で大形哺乳類を連想

* 選定理由: 中国語でカバは「河马(河馬)」が一般的。日本語圏にも「河馬」の表記があり意味が連想しやすい。
* 学習コスト: 「河」はさんずい偏(氵)、「马」は部首(馬の簡体)で、今後ラクダ(骆驼)やシマウマ(斑马)など馬関連で再利用可能。

### 2) serpent

swift

Copy

serpent/蛇/「ヘビ」の意味を表す単字/日本語・中国語ともに蛇は共通認識

* 選定理由: 中国語・日本語とも「蛇」で「ヘビ」を連想可能。画数も9画と比較的少なめ。
* 学習コスト: 「虫」偏と「它」の組み合わせ。昆虫・爬虫類を表すときの虫偏は他でもよく使われるため使い回しやすい。

### 3) simi

swift

Copy

simi/猿/「サル」全般に近いイメージ/日本語では「猿」、中国語では「猿」→類人猿寄りだが通じやすい

* 選定理由: 日本語で「猿」はサル類全般を連想可能。中国語ではやや「ape」寄りだが、「猴(猴子)」と並んでよく使われる。
* 学習コスト: 「犭(犬偏)」+「袁」の組み合わせ。すでに他の動物(豺・獾など)でも「犭」を再利用予定。

※もし「猿」が中国語で類人猿寄りで混乱を招く場合は、代わりに「猴」も検討可。

### 4) arane

swift

Copy

arane/蜘蛛/クモの標準表記/中国語・日本語ともに「蜘蛛」で通じる

* 選定理由: クモは中国語で「蜘蛛」が一般的。日本語も「蜘蛛」と書くので分かりやすい。
* 学習コスト: 「虫」偏(再利用できる)に「知(智)」系統のパーツが2つ並ぶ形。やや画数多いが標準名なので認知度は高い。

### 5) leopard

swift

Copy

leopard/豹/ヒョウ属の代表的単字/日本語・中国語とも「豹」で直観しやすい

* 選定理由: 「豹」はヒョウを指す1文字で、簡体字・日本語とも同形。
* 学習コスト: 「豸」偏(獣偏の一種)を使うが、他にも「豺」「獾」など似た構造が出てくるため、ある程度使い回し可能。

### 6) ŝakal

swift

Copy

ŝakal/豺/ジャッカルやドールを指す漢字/中国語で「豺」は野生イヌ科の総称に近い

* 選定理由: 中国語では「豺」単字でジャッカルに近い意味合いをもつ。
* 学習コスト: 「豸」偏(ヒョウの「豹」と同じく動物に関する偏旁)の再利用。珍しいが画数は少なめ(8画)。

### 7) mel

swift

Copy

mel/獾/アナグマの標準表記/中国語では「獾」(huān)

* 選定理由: アナグマを示す単字は「獾」が標準。日本語でも「獾(むじな)」表記があり、動物辞典などで通じる。
* 学習コスト: 「犭」+「奐」の組み合わせ。やや画数多めだが他の動物と同じ犬偏を使える。

### 8) buf

swift

Copy

buf/蟾蜍/ヒキガエルの標準名/片方の「蟾」だけではやや伝わりにくい

* 選定理由: 中国語でヒキガエルは「蟾蜍」が一般的。古文で「蟾」単独例もあるが混乱を避けるため2文字推奨。
* 学習コスト: いずれも虫偏(蟲)系パーツを含む。「蟾」(16～17画)と「蜍」(12～13画)で画数は多めだが、いずれも「虫」偏再利用。

### 9) erinac

swift

Copy

erinac/猬/ハリネズミ/中国語では「刺猬」だが単字「猬」で通じる場合も

* 選定理由: 標準表記は「刺猬」だが、後半の「猬」だけでハリネズミを指せる(やや略式)。
* 学習コスト: 「犭」偏の動物系漢字。「刺」を省くことで1文字に簡略化。

### 10) zebr

swift

Copy

zebr/斑马/シマウマの標準名/日本語にも「斑馬」の表記あり

* 選定理由: 「斑马(斑馬)」が中国語でシマウマの標準。「斑」は模様、「马」は馬。
* 学習コスト: 「马」(馬)は既出(hipopotamの「河马」など)と同じ。画数を統合しやすい。

### 11) lutr

swift

Copy

lutr/獭/カワウソ/中国語では「水獭」が一般的だが単字「獭」でも通用

* 選定理由: 「獭」単字だけでも「カワウソ」を表す。フル表記は「水獭」。
* 学習コスト: 「犭」偏を再利用。画数(16前後)は多めだが動物名としては仕方ない面あり。

### 12) antilop

swift

Copy

antilop/羚羊/カモシカ・アンテロープ類/中国語で「羚羊」は総称として一般的

* 選定理由: 「羚羊」はアンテロープを指す総称。日本語でも「羚羊」はカモシカとの対応が多い。
* 学習コスト: 「羊」偏は将来ヤギ・ヒツジ関連でも使う可能性大。2文字ながら意義分かりやすい。

### 13) kamel

swift

Copy

kamel/骆驼/ラクダ/中国語での標準表記

* 選定理由: 中国語でラクダは「骆驼」(駱駝の簡体)。日本語でも「駱駝」で通じる。
* 学習コスト: どちらも「马」へんを含む(実際は「骆」も「驼」も馬部)。馬関連として再利用可能。

### 14) ĉam

swift

Copy

ĉam/羚/カモシカ(ヨーロッパのシャモア等)/アンテロープ系と同じ字を使い回し

* 選定理由: 正確には「chamois」を指す中国語に決まった1文字はないが、アンテロープ系と近縁として「羚」を流用。
* 学習コスト: 既に「antilop」で使った「羚羊」と同じ「羚」。同一漢字を二重割当して学習負担を削減。

### 15) regol

swift

Copy

regol/戴菊/キクイタダキの中国語名「戴菊鶲・戴菊莺」などを略/未対応でも可

* 選定理由: ゴールドクレスト(金冠)は中国語で「戴菊莺」と呼ばれることが多いが3文字になる。最低限「戴菊」で「菊冠を戴く鳥」のニュアンスを示せる。
* 学習コスト: 「戴」「菊」ともに初出だが、より簡単な1～2文字表現が無いため2文字案。煩雑なら「未対応」扱いも検討。

### 16) kornik

swift

Copy

kornik/乌鸦/コガラス(フード付きカラス)/中国語では「乌鸦」全般が“カラス”

* 選定理由: フード付きカラス(hooded crow)の厳密表記は「灰背鸦」などだが、2文字で単純化するなら「乌鸦(乌鴉)」。
* 学習コスト: 「乌」(烏)と「鸦」(鴉)で構成。鳥偏(鸦)は他のカラス科でも再利用可。

### 17) merl

swift

Copy

merl/乌鸫/クロウタドリの中国語標準名

* 選定理由: ブラックバードは中国語で「乌鸫」が通称(ウドン/うてい)。
* 学習コスト: 「乌」再利用、プラス「鸫」という新出漢字(鳥偏＋冬)。やや珍しいが正式名なので妥当。

### 18) tetr

swift

Copy

tetr/黑琴鸡/クロライチョウ(ブラックグラウス)の中国語名

* 選定理由: 黒ライチョウ(Black Grouse)は中国語で「黑琴鸡」が一般的。「松鸡」と呼ぶこともあるが区別のためこちらを推奨。
* 学習コスト: 「黑」(黒)・「琴」・「鸡」(鶏の簡体)で計3文字。画数はそこそこあるが鳥名としては標準。

### 19) frugileg

swift

Copy

frugileg/秃鼻鸦/ミヤマガラス(rook)の略称/正式は「秃鼻乌鸦」

* 選定理由: 「秃鼻乌鸦」(4文字)をさらに縮めて「秃鼻鸦」(3文字)に簡略化。
* 学習コスト: 「秃」(ハゲ)＋「鼻」＋「鸦」(カラス)。既出の「鸦」を再利用し、やや短縮。

### 20) moned

swift

Copy

moned/寒鸦/コクマルガラス(jackdaw)の中国語名

* 選定理由: 「寒鸦」はダウリアガラスやコクマルガラスを含む名として使われる。
* 学習コスト: 2文字のみで比較的シンプル。「鸦」は既出。

### 21) garol

swift

Copy

garol/松鸦/カケス(Eurasian jay)の中国語名

* 選定理由: 中国語で「松鸦」が正式。日本語でも「松鴉」でカケスを指す表記あり。
* 学習コスト: 「松」+「鸦」。どちらも既出または今後も鳥名で用いそうな要素。

### 22) urogal

swift

Copy

urogal/松鸡/オオライチョウ(ヨーロッパのライチョウ)の中国語名

* 選定理由: カルパチアや北欧のオオライチョウは「松鸡」で総称される。
* 学習コスト: 「松」+「鸡」。18)の「黑琴鸡」などと同じ「鸡」使い回し。

### 23) oriol

swift

Copy

oriol/黄鹂/コウライウグイス(オリオール)の中国語名

* 選定理由: 中国語でオリオール科は「黄鹂」(黄鶲とは別)。日本語でも「黄鸝」という表記が通じる場合あり。
* 学習コスト: 「黄」+「鹂」(鳥偏)。画数はそこそこあるが一般的名称。

### 24) arde

swift

Copy

arde/苍鹭/アオサギ(グレイヘロン)の中国語名

* 選定理由: 「苍鹭」が中国語で一般的(「苍」は灰色～青みがかった色、「鹭」はサギ)。
* 学習コスト: 「苍」と「鹭」は初出だが、サギ類で「鹭」(egret/heron)を共用可能。

### 25) hortulan

swift

Copy

hortulan/田鹀/オオジュリン・ホオジロ科に近い意味(正確な標準訳は諸説)/未対応も可

* 選定理由: 「ortolan bunting」を表す際、中国語では「田鹀」とされる例がある(学名Emberiza hortulana)。
* 学習コスト: 「田」と鳥偏の「鹀」。やや珍しいがホオジロ類で使われる字。2文字に収まる。

pav / 孔雀 /

* + 選定理由: 「孔雀」は現代中国語でも標準的な呼称。1文字で「孔」や「雀」単独を当てると意味を大きく逸脱するため、2文字熟語を採用。
  + 学習コスト: 「孔」(わずか4画)＋「雀」(11画) の2文字。のちに「雀」は他の語根にも流用可能。

1. kok / 鸡 /
   * 選定理由: 中国語の鶏を表す最も基本的な簡体字。「雞(鶏)」の簡体字。
   * 学習コスト: 1文字(7画)。頻出漢字であるため再利用価値が高い。
2. bird / 鸟 /
   * 選定理由: “鳥”を意味する簡体字の最も基本的形(5画)。まさに「鳥類」を指す中心的字。
   * 学習コスト: 1文字(5画)。以後「～鳥」の形で他の候補にも応用しやすい。
3. anas / 鸭 /
   * 選定理由: 「鴨」の簡体字。1文字で広く認知されている。
   * 学習コスト: 1文字(9画)。
4. agl / 鹰 /
   * 選定理由: 「鷹」の簡体字(15画)。鷲(イーグル)を指す最も代表的な字。
   * 学習コスト: 1文字。やや画数は多めだが、鷲・鷹類を表す字として一般的。
5. kolomb / 鸽 /
   * 選定理由: 「鴿」の簡体字(9画)。ハト・鳩類を指す標準的な単字。
   * 学習コスト: 1文字。
6. gru / 鹤 /
   * 選定理由: 「鶴」の簡体字(10画)。ツルを指す標準的な単字。
   * 学習コスト: 1文字。
7. strut / 鸵鸟 /
   * 選定理由: ダチョウの標準中国語は「鸵鸟」(“鸵”+“鸟”)。1文字「鸵」だけでも“ダチョウ”を指すが、単独では通じづらい場合もあるため標準熟語で採用。
   * 学習コスト: 「鸵」(10画)は新規、「鸟」は既出。
8. cign / 天鹅 /
   * 選定理由: 白鳥＝「天鹅」が現代中国語で一般的。“鹅”はガチョウだが、組み合わせで“白鳥”の意を示す。
   * 学習コスト: 「天」(4画)新規＋「鹅」(9画)は次のガチョウでも使うので再利用可。
9. anser / 鹅 /

* 選定理由: ガチョウを指す最も基本的な単字(9画)。
* 学習コスト: 上記「天鹅」で既出の「鹅」再利用可。

1. sturn / 椋鸟 /

* 選定理由: ムクドリ科を指す漢名は「椋鸟」(“椋”+“鸟”)が一般的。
* 学習コスト: 「椋」(12画)は新規、「鸟」は既出。二文字ではあるが、新規漢字は1つのみ。

1. vanel / 麦鸡 /

* 選定理由: タゲリ(欧州のLapwing)は「凤头麦鸡」等があるが、4文字だと新規偏旁が増えるので、より簡潔な「麦鸡」とした。
* 学習コスト: 「麦」(7画)新規＋「鸡」は既出。

1. meleagr / 火鸡 /

* 選定理由: 七面鳥＝「火鸡」が現代中国語で最も通用する名称。
* 学習コスト: 「火」(4画)新規＋「鸡」既出。

1. perdrik / 石鸡 /

* 選定理由: シャコ(パートリッジ類)を指す名称の一つに「石鸡」がある。別の「鹧鸪」は2文字どちらも新規になるため、片方既出の「鸡」を活かせる「石鸡」を採用。
* 学習コスト: 「石」(5画)新規＋「鸡」既出。

1. papili / 蝶 /

* 選定理由: 「蝴蝶」の後ろの字だけを取り、1文字で“蝶＝チョウ”を表す。単独でも意味は十分通じる。
* 学習コスト: 1文字(15画)新規。

1. kolibr / 蜂鸟 /

* 選定理由: ハチドリ＝「蜂鸟」が標準名称。
* 学習コスト: 「蜂」(13画)新規＋「鸟」既出。

1. papag / 鹦鹉 /

* 選定理由: オウムの標準的な呼称(2文字)。1文字のみで“鹉”あるいは“鹦”としても通じにくい場合があるため、一般的な熟語「鹦鹉」を優先。
* 学習コスト: 「鹦」(16画)と「鹉」(9画)はいずれも新規。

1. pig / 鹊 /

* 選定理由: カササギ＝「喜鹊」。ただし1文字「鹊」(“鵲”の簡体字)でも“magpie”を指すのは比較的通じるため、学習コスト軽減のため単字を採用。
* 学習コスト: 1文字(13画)新規。

1. fazan / 野鸡 /

* 選定理由: キジ類を総称する場合によく使われる“野鸡”。
* 学習コスト: 「野」(11画)新規＋「鸡」既出。

1. falk / 隼 /

* 選定理由: 「隼」は漢字単独で“falcon”を表す。ほか「猎鹰」などもあるが、2文字になるうえ新規字が2つになる可能性があるため、1文字「隼」を採用。
* 学習コスト: 1文字(10画)新規。

1. pirol / 灰雀 /

* 選定理由: ウソ(特にユーラシアウソ)は中国語で「灰雀」と呼ばれることがある（“红腹灰雀”など）。2文字のうち「雀」は既出。
* 学習コスト: 「灰」(6画)新規＋「雀」は既出。

1. peg / 啄木鸟 /

* 選定理由: キツツキは「啄木鸟」が中国語で最も通用する標準名称。
* 学習コスト: 「啄」(8画)新規＋「木」(4画)新規＋「鸟」は既出。

1. skolop / 鹬 /

* 選定理由: シギ類は「鹬(鷸)」が総称。特にwoodcock(ヤマシギ)は「丘鹬」だが、前字「丘」も新規になるため、1文字「鹬」に集約。
* 学習コスト: 1文字(13画)新規。

1. cikoni / 鹳 /

* 選定理由: コウノトリ＝「鹳」(“鸛”の簡体)。単字で広く通用。
* 学習コスト: 1文字(13画)新規。

1. paser / 麻雀 /

* 選定理由: スズメは「麻雀」が中国語圏で一般的。1文字「雀」では曖昧だが、「麻雀」なら一目瞭然。
* 学習コスト: 「麻」(11画)新規＋「雀」は既出。

1. vultur (ハゲタカ)

swift

Copy

vultur/鹫/ハゲタカ(鷲・秃鹫)を表す簡体字/日本語「鷲」と同源で、両言語話者とも理解しやすい

* 選定理由: 「鹫(jiù)」は「鷲」の簡体字で、ハゲタカやコンドルなどを含む猛禽を指し得る文字として認知度が高い。
* 学習コスト: やや画数は多いものの、猛禽類での使い回しがしやすい。

1. kukol (カッコウ)

swift

Copy

kukol/鹃/カッコウ(杜鹃)を表す簡体字/日本語「鵑」と同源で、中国語でも「杜鹃」として通じる

* 選定理由: 「杜鹃(カッコウ／ツツジ)」の「鹃(juān)」を用いると、一文字で「カッコウ」を連想しやすい。
* 学習コスト: 画数はそこそこだが、鳥偏(鸟)が含まれており、他の鳥類の字と比較的統一感がある。

1. strig (フクロウ)

swift

Copy

strig/鸮/フクロウを意味する簡体字/古来「鴞」の簡体字。鳥偏を含み他の猛禽類とも関連付け可

* 選定理由: 「鸮(xiāo)」はフクロウを指す正式な簡体字表記。
* 学習コスト: ややマイナーな字だが、中国語でフクロウを一文字で表す場合はほぼこれになる。

1. ibis (トキ)

swift

Copy

ibis/鹮/トキ(朱鹮)を指す簡体字/「朱鹮」などで用いられる

* 選定理由: 「鹮(huán)」は「朱鹮」をはじめトキ科の鳥を示す字。
* 学習コスト: 鳥偏(鸟)を使っており、他の鳥類字と形が近い。

1. guf (ワシミミズク)

swift

Copy

guf/鸮/ワシミミズクもフクロウの一種として同字を使い回し/猛禽系フクロウであるためstrigと共用

* 選定理由: ワシミミズクもフクロウ科なので、「鸮」でまとめた方が字数削減になる。
* 学習コスト: 既出の「鸮」を再利用し、覚える字を増やさない。

1. kolimb (アビ)

swift

Copy

kolimb/潜鸟/アビ科の鳥を意味する中国語熟語/「潜」と「鸟」で「潜る鳥」を直観しやすい

* 選定理由: 中国語でアビ科は「潜鸟属」等と呼ぶため、二文字「潜鸟」が最も分かりやすい。
* 学習コスト: 新規字「潜(せん)」は少々画数が多いが、「鸟」は他でも登場し得るので再利用しやすい。

1. hirund (ツバメ)

swift

Copy

hirund/燕/ツバメを意味する常用字/日本語の「燕」と同形で、両言語で直感的に理解しやすい

* 選定理由: 「燕(yàn)」はツバメの代表的な字。日中ともに通用しやすい。
* 学習コスト: 画数はやや多めだが、ツバメのイメージが強いため連想しやすい。

1. koturn (ウズラ)

swift

Copy

koturn/鹑/ウズラを意味する簡体字(「鹌鹑」の後半)/ウズラ全般の象徴字

* 選定理由: 「鹌鹑(ānchún)」の後半「鹑(chún)」を単独で使うことで一文字に集約。
* 学習コスト: 「鸟」偏が入り、他の鳥類と関連付け可能。

1. milv (トビ)

swift

Copy

milv/鸢/トビ(鳶)を意味する簡体字/日本語の「鳶」の簡体表記でもあり、猛禽としての連想容易

* 選定理由: 「鸢(yuān)」は古来より“トビ”や“タカ”など猛禽を表す字。「鳶」の簡体でもある。
* 学習コスト: 画数は比較的少なく、鳥偏が付いている。

1. turt (キジバト)

swift

Copy

turt/鸠/ハト類(斑鸠など)を意味する簡体字/日本語の「鳩」と同源で分かりやすい

* 選定理由: 「鸠(jiū)」は古い書き方だが、ハト全般を示す字。キジバトにも転用可能。
* 学習コスト: 「鳥」偏入りで、同系統の文字として覚えやすい。

1. noktu (コフクロウ等)

swift

Copy

noktu/鸮/コフクロウを含むフクロウ科なのでstrigと同字再利用/学習コスト削減

* 選定理由: フクロウ科の鳥という点で「鸮」に統一。
* 学習コスト: 既出字の再利用で増やさない。

1. tetra (エゾライチョウ)

swift

Copy

tetra/榛鸡/エゾライチョウを指す二字熟語/中国語で「榛鸡」と呼ばれる

* 選定理由: 中国語では「榛鸡(zhēnjī)」が一般的な呼称（＝ハシブトライチョウ、ハゼリョウ等）。
* 学習コスト: 二文字熟語だが、「鸡」は“鶏”の簡体で今後も汎用性がある可能性が高い。

1. akcipitr (タカ)

swift

Copy

akcipitr/鹰/タカ科・ワシ科など猛禽全般を指す簡体字/「鷹」の簡体で通じやすい

* 選定理由: 「鹰(yīng)」はワシ・タカ類の総称的な用法があり、猛禽一般に使いやすい。
* 学習コスト: 鳥偏を含み、他猛禽との関連が取りやすい。

1. niz (ハイタカ)

swift

Copy

niz/鹰/ハイタカもタカ科なので同字「鹰」を使い回し/猛禽統一表記

* 選定理由: 同じタカ科のため、わざわざ別字を増やさず「鹰」で共通化。
* 学習コスト: 既出の「鹰」を再利用し、一貫性を保つ。

1. fring (アトリ)

swift

Copy

fring/雀/アトリやフィンチ類の小鳥を指す簡易表記/スズメ目共通の「雀」でまとめる

* 選定理由: 「雀(què)」はスズメ科・フィンチ類の小鳥を広く表すのに便利。
* 学習コスト: 鳥偏ではないが小鳥イメージが強い字として再利用可能。

1. alcion (カワセミ)

swift

Copy

alcion/翠鸟/カワセミを意味する中国語熟語/「翠」と「鸟」で視覚的にも分かりやすい

* 選定理由: 中国語でカワセミは一般的に「翠鸟(cuìniǎo)」。
* 学習コスト: 「翠」は多少画数があるが、鳥偏の「鸟」は他でも再利用可。

1. mev (カモメ)

swift

Copy

mev/鸥/カモメ(鷗)を指す簡体字/日本語「鴎」の簡体形で見覚えがある人も多い

* 選定理由: 「鸥(ōu)」は「鷗」の簡体で、カモメの意味が明確。
* 学習コスト: 鳥偏ありの一文字で済むので効率的。

1. korv (カラス)

swift

Copy

korv/鸦/カラス(烏鴉)を意味する簡体字/日本語「鴉」と同源で分かりやすい

* 選定理由: 「鸦(yā)」は「鴉」の簡体で、カラス科全般に通じる。
* 学習コスト: 比較的画数が少なく、猛禽以外の鳥類との区別も容易。

1. alaŭd (ヒバリ)

swift

Copy

alaŭd/云雀/ヒバリを意味する二字熟語/「云」と既出「雀」の組合せ

* 選定理由: 中国語では「云雀(yúnquè)」が一般的呼称。また「百灵(bǎilíng)」等もあるが、ここでは「雀」を再利用できる「云雀」を選択。
* 学習コスト: 「雀」は既出、追加文字「云」は画数が少なく覚えやすい。

1. najtingal (ナイチンゲール)

swift

Copy

najtingal/夜莺/夜に鳴く小鳥(ナイチンゲール)を指す二字熟語/通称として広く通じる

* 選定理由: 中国語の「夜莺(yèyīng)」が定訳。
* 学習コスト: 「夜」は常用、「莺」は鳥偏こそないが“ウグイス・オリーブ”系統の小鳥を連想させる字。

1. paru (シジュウガラ)

swift

Copy

paru/山雀/山地に多いカラ類(シジュウガラ等)を指す二字熟語/「雀」を再利用

* 選定理由: 中国語でカラ類は「山雀(shānquè)」と総称されることが多い。
* 学習コスト: 「山」は画数が少なく、「雀」は既出。

1. kardel (ゴシキヒワ)

swift

Copy

kardel/金雀/金翅雀(ゴシキヒワ)を簡略化して表現/「雀」の再利用

* 選定理由: 正式には「金翅雀(jīnchìquè)」などだが、やや長いので「金雀」に省略。
* 学習コスト: 「金」は基礎漢字で覚えやすく、「雀」は既出。

1. kokcinel (ナナホシテントウ)

swift

Copy

kokcinel/瓢虫/テントウムシを意味する中国語熟語/七星瓢虫なども含む総称

* 選定理由: 中国語でテントウムシ科は「瓢虫(piáochóng)」または「瓢甲虫」等が使われる。
* 学習コスト: 「虫」は汎用的(甲虫など他にも利用可)。「瓢」は少し画数多めだが仕方ない。

1. silvi (シルビア属の小鳥・ウグイス等)

swift

Copy

silvi/莺/ウグイスや小型のムシクイ(warbler)を指す簡易表記/夜莺(後半)の字を再利用

* 選定理由: 中国語でウグイス類やムシクイ類を広く「莺(yīng)」系統に含めることが多い。
* 学習コスト: 既に「夜莺」で登場した「莺」を使い回し、一文字で済む。

1. skarab (カブト虫・スカラベ)

swift

Copy

skarab/甲虫/カブトムシを含む甲虫類全般の熟語/「虫」は既出の再利用

* 選定理由: 「甲虫(jiǎchóng)」はビートル類(カブトムシやクワガタムシ等)の総称として便利。
* 学習コスト: 「虫」はテントウムシ(瓢虫)などでも既出、「甲」は基本漢字。

kantarid (ハンミョウ)

* + 提案漢字: 虎甲
  + 選定理由・根拠: 中国語で「虎甲虫」はハンミョウ科(“虎甲”=“タイガービートル”)を指す標準的名称です。3文字の「虎甲虫」を2文字に短縮して学習コストを少しでも下げました。
  + 学習コストの考察: 「虎」(8画)と「甲」(5画)の2字で比較的シンプルですが、今後「虎」や「甲」の再利用はそこまで多くはないかもしれません。

1. burd (マルハナバチ)
   * 提案漢字: 熊蜂
   * 選定理由・根拠: 中国語でマルハナバチは「熊蜂」が一般的です(“熊”=クマ, “蜂”=ハチ)。
   * 学習コストの考察: 「蜂」(13画) は今後スズメバチ等ほかのハチ類に転用でき、学習コスト軽減に寄与します。「熊」は初出ですが、動物を連想しやすい漢字です。
2. taban (アブ)
   * 提案漢字: 虻
   * 選定理由・根拠: 中国語ではアブ類を「虻」または「牛虻(ウシアブ)」等と呼ぶが、1文字「虻」も通じます。
   * 学習コストの考察: 単独1文字なので画数も少なく、分かりやすいです。
3. lampir (ホタル)
   * 提案漢字: 萤
   * 選定理由・根拠: 中国語の「萤火虫(ホタル)」のうち、核心をなす1文字「萤」を採用。日本の旧字「蛍」の簡体字です。
   * 学習コストの考察: 1文字で画数は多め(11画)ですが、「ホタル」としては直感的に中国語圏でも通じます。
4. alg (藻類)
   * 提案漢字: 藻
   * 選定理由・根拠: 中国語で“藻类”をまとめて指す場合、「藻」単独でも海藻や藻類全般を指し示す語幹として機能します。
   * 学習コストの考察: 画数は多め(19画前後)ですが、日本語でも「藻」は同じ字形のため意味をつかみやすいです。
5. spong (海綿)
   * 提案漢字: 海绵
   * 選定理由・根拠: 中国語で海綿動物(スポンジ)は「海绵」が基本。1文字にしづらいので2文字熟語としました。
   * 学習コストの考察: 「海」(10画) は他の海洋生物表現(例: 海藻)等で再利用可能。「绵」(綿の簡体字) も学習価値あり。
6. akrid (イナゴ・バッタ類)
   * 提案漢字: 蝗
   * 選定理由・根拠: 中国語でバッタ類(特に飛蝗=イナゴやトノサマバッタ等)は「蝗」が単独で“イナゴ・バッタ・蝗害”を表す字として通用します。
   * 学習コストの考察: 1文字(15画程度)で、イナゴやバッタをイメージしやすいです。
7. formik (アリ)
   * 提案漢字: 蚁
   * 選定理由・根拠: 中国語の「蚂蚁」(アリ)から後半の「蚁」1文字を抽出しました。
   * 学習コストの考察: 単独5画で比較的単純。アリと分かるかはやや略字的ですが、中国語圏では十分通じます。
8. cikad (セミ)
   * 提案漢字: 蝉
   * 選定理由・根拠: 中国語でもセミを「蝉」と書きます(簡体字でも同形)。
   * 学習コストの考察: 10画程度で、日本語と同じ形なので分かりやすいです。
9. termit (シロアリ)

* 提案漢字: 白蚁
* 選定理由・根拠: 中国語でシロアリは「白蚁」が標準的呼称。1文字化が難しいため2文字です。
* 学習コストの考察: 既出の「蚁」を再利用しつつ、「白」(5画)のみ追加。

1. libel (トンボ)

* 提案漢字: 蜻蜓
* 選定理由・根拠: 中国語でトンボは「蜻蜓」が標準。1文字で分割(「蜻」or「蜓」)すると通じにくいので2文字セット。
* 学習コストの考察: 2文字合計で画数はやや多いですが、日中とも“トンボ”と把握しやすいです。

1. turd (ツグミ・トラッシュ類)

* 提案漢字: 鸫
* 選定理由・根拠: 中国語ではツグミ類を「鸫(dōng)」と書きます。日本ではあまり見かけない字ですが、簡体字でも同形です。
* 学習コストの考察: 単独1文字(10画程度)で、鳥偏が含まれ“鳥”類と連想できます。

1. krabr (スズメバチ / hornet)

* 提案漢字: 马蜂
* 選定理由・根拠: 中国語でスズメバチ・ホーネットは「马蜂」や「胡蜂」「黄蜂」など数種ありますが、比較的通用度の高い「马蜂」を採用。
* 学習コストの考察: 「蜂」は既出(熊蜂)との共通字。新たに「马」(馬の簡体字)を追加。

1. gril (コオロギ)

* 提案漢字: 蟋蟀
* 選定理由・根拠: 中国語でコオロギは「蟋蟀」が標準。1文字省略だと通じにくいので2文字セット。
* 学習コストの考察: やや画数が多い(「蟋」「蟀」いずれも虫偏+複雑部)ですが、標準表記です。

1. kokon (繭)

* 提案漢字: 茧
* 選定理由・根拠: 繭の中国語簡体字は「茧」。
* 学習コストの考察: 9画程度で1文字。日本語「繭」の簡体形なので、ある程度想像がつきます。

1. fung (キノコ・菌類)

* 提案漢字: 菌
* 選定理由・根拠: 「真菌」(真菌類)や「菌類」を表す核心字。「蘑菇」(マッシュルーム)などもあるが、1文字なら「菌」が最も汎用的です。
* 学習コストの考察: 7画と比較的少なく、応用範囲(細菌・真菌)が広いので覚える価値は高い。

1. moskit (蚊)

* 提案漢字: 蚊
* 選定理由・根拠: 中国語で“蚊子”を1文字化した「蚊」。日本語でも“か”と読む虫偏の字。
* 学習コストの考察: 10画程度。虫偏＋文(ぶん)で構成され、直感的に“蚊”と連想しやすい。

1. kul (蚊・小さい蚊/ブユ/ヌカカ等)

* 提案漢字: 蠓
* 選定理由・根拠: “蠓(měng)”はブユやヌカカなど小型の吸血性昆虫を指す中国語。moskit(蚊)と区別したい場合に使えます。
* 学習コストの考察: 16画とやや多めですが、他に1文字表記が少ないため選定。

1. verm (ミミズ・イモムシなど広義の“虫”=ワーム)

* 提案漢字: 蠕虫
* 選定理由・根拠: 中国語で“ワーム”(蠕動する虫)を包括的に言うと「蠕虫」。1文字「虫」だけだと昆虫全般に広がりすぎるため2文字に。
* 学習コストの考察: 「蠕」は虫偏+而(に)で画数多め(15画)。ただ“ミミズ等を連想する蠕動”という意味が明確です。

1. larv (幼虫)

* 提案漢字: 幼虫
* 選定理由・根拠: 中国語で“幼虫”は「幼虫」が標準的。1文字化が難しいため2文字。
* 学習コストの考察: 「虫」(既出)と「幼」(5画)だけなので比較的覚えやすい。

1. raŭp (幼虫・毛虫)

* 提案漢字: 毛虫
* 選定理由・根拠: 中国語でも「毛虫」は“ケムシ”一般を指す常用表現。
* 学習コストの考察: 「毛」(4画) + 「虫」(6画)でシンプル。すでに「虫」偏は頻出なので応用が効きます。

1. akar (ダニ・ダニ類)

* 提案漢字: 螨
* 選定理由・根拠: 中国語でダニ類(チリダニ等)は「螨(mǎn)」。なお「蜱(pí)」は主に“マダニ”=tick。
* 学習コストの考察: 16画程度ですが、ダニ専用単字としては唯一に近い表記。

1. insekt (昆虫)

* 提案漢字: 昆虫
* 選定理由・根拠: 中国語で“昆虫”をそのまま2字熟語化。単独「虫」だとあまりに広義すぎるため、正式分類名を採用。
* 学習コストの考察: 「昆」(8画) +「虫」(6画)。虫関連で頻出の「虫」を再利用。

1. vesp (スズメバチ/ワスプ)

* 提案漢字: 黄蜂
* 選定理由・根拠: 中国語で一般的に“ワスプ”類を「黄蜂」「胡蜂」等という。先に “krabr=马蜂” を用いたため、こちらは「黄蜂」で区別。
* 学習コストの考察: 「蜂」は既出、「黄」(11画)は新規追加ですが、色を示す字で覚えやすい。

1. tine (衣魚=シミ・シルバーフィッシュ)

* 提案漢字: 衣鱼
* 選定理由・根拠: 中国語で“シミ(衣魚)”は「衣鱼」。字面通り「服の魚？」ですが、silverfishの意味を表す標準名です。
* 学習コストの考察: 「衣」(6画)と「鱼」(8画)は日中とも基本的な字(「鱼」は“魚”の簡体字)。

cim / 虫 /  
　選定理由: 「虫」は最も基本的な“虫・バグ”の漢字であり、日本語でも中国語でも「むし」として連想しやすい。  
　学習コスト: 画数6画と比較的少なく、以後も昆虫関連語根に再利用可能。

1. muŝ / 蝇 /  
   　選定理由: ハエを指す簡体字は「蝇」。日本語の「蝿」と字形が似ており意味を連想しやすい。  
   　学習コスト: 同じ「虫」偏旁を含むが、全体画数はやや多め(「蝇」は9～10画程度)。ただし専門的にハエを明示できるので妥当。
2. abel / 蜂 /  
   　選定理由: ミツバチや蜂を表す簡体字として一般的なのは「蜜蜂」だが、1文字なら「蜂」が妥当。  
   　学習コスト: 「虫」偏旁を再利用。画数は13画ほどだが、蜂類の意味として広く通じる。
3. fagot / 巴松 /  
   　選定理由: ファゴット(バスーン)は中国語で「巴松管」「大管」などの呼称があるが、2文字でより一般的な「巴松」を採用。  
   　学習コスト: 「巴」「松」ともに比較的初級で、バラバラに学ぶ機会が多い漢字。
4. fanfar / 号角 /  
   　選定理由: ファンファーレやラッパ的な響きを表すなら「号角」が端的。喇叭(ラッパ)よりも画数を抑えられる。  
   　学習コスト: 「号」は5画、「角」は7画で合計12画。どちらも初級～中級レベルの漢字。
5. flan / 布丁 /  
   　選定理由: フラン(洋菓子)に対応する明確な1文字はない。プリンやフランに近いイメージとして「布丁」(プディング)を便宜的に割り当て。  
   　学習コスト: 「布」(5画)「丁」(2～4画)で比較的覚えやすい。実際の意味合いはやや広め。
6. flanel / 法兰绒 /  
   　選定理由: フランネルは中国語で「法兰绒」が一般的。短縮形「绒布」は意味が広くなる。  
   　学習コスト: 「法」「兰」「绒」はいずれも初～中級レベルだが合計画数はやや多い(20画程度)。
7. frank / 法郎 /  
   　選定理由: フラン通貨は中国語で「法郎」。フランスの貨幣(旧フラン)に対応。  
   　学習コスト: 「法」(7画)「郎」(9画)で16画程度。貨幣としては分かりやすい表記。
8. floren / 弗罗林 /  
   　選定理由: フロリン(Florin)に対する漢字転写としてよく使われるのが「弗罗林」。1文字での対応は困難。  
   　学習コスト: 「弗」「罗」「林」で21画ほど。外来語音写としては標準的。
9. falang / 方阵 /  
   　選定理由: 密集方陣(ファランクス)は中国語で「方阵」。意味を簡潔に表せる2文字。  
   　学習コスト: 「方」(4画)「阵」(6画)で合計10画、比較的少ない。
10. parafin / 石蜡 /  
    　選定理由: パラフィンは中国語で「石蜡」。ほぼ定訳で1文字対応は存在しない。  
    　学習コスト: 「石」(5画)「蜡」(14画前後)でやや多めだが、化学用語としては標準。
11. relief / 浮雕 /  
    　選定理由: 浮彫り(レリーフ)を簡単に表す際、中国語では「浮雕」。  
    　学習コスト: 「浮」(10画)「雕」(11画)でやや多め。美術用語として定着している。
12. barelief / 浅浮雕 /  
    　選定理由: 浅浮彫り(バスレリーフ)は「浅浮雕」と訳されるのが一般的。  
    　学習コスト: 「浅」(8～9画)を加え、合計30画前後。ただし正確な用語として定着。
13. fresk / 湿壁画 /  
    　選定理由: フレスコ画は「湿壁画」(wet wall painting)と表される。単に「壁画」では壁画全般となり狭義に合わない。  
    　学習コスト: 「湿」(9画)「壁」(16画)「画」(8画)で合計30を超えるが、美術専門用語。
14. rokok / 洛可可 /  
    　選定理由: ロココ式は中国語で「洛可可」。一種の音訳で美術史用語として定着。  
    　学習コスト: 3文字だが、いずれも初～中級レベルで学ぶ機会は比較的ある。
15. ciklop / 独眼巨人 /  
    　選定理由: キュクロプス(独眼の巨人)はそのまま「独眼巨人」と表記。  
    　学習コスト: 4文字(合計23画前後)と長めだが、意味は非常に分かりやすい。
16. cirkumfleks / 抑扬符 /  
    　選定理由: サーカムフレクス(文字上部の曲折アクセント)の訳語例として「抑扬符」などが用いられる。  
    　学習コスト: 「抑」(7画)「扬」(6画)「符」(5画)で18画ほど。表音記号として専門性が高い。
17. franĝ / 流苏 /  
    　選定理由: 房飾り(フリンジ・タッセル)は中国語で「流苏」が代表的。  
    　学習コスト: 「流」(10画)「苏」(7画)で17画。装飾や服飾関連で使用。
18. tonsur / 剃度 /  
    　選定理由: 宗教的な剃髪(tonsure)は中国語で「剃度」が最も近い(出家の意味合いも含む)。  
    　学習コスト: 「剃」(9画)「度」(9画)で合計18画。仏教関連用語として認知。
19. tril / 颤音 /  
    　選定理由: トリル(音楽の装飾音)は中国語で「颤音」が一般的。  
    　学習コスト: 「颤」(10画)「音」(9画)で19画。音楽用語として標準的表記。
20. vals / 华尔兹 /  
    　選定理由: ワルツを音訳した「华尔兹」は中国語でも通じる。あるいは「圆舞曲」でも可(やや文語的)。  
    　学習コスト: 3文字(合計約20画)だが、外来音楽用語としてよく知られる。
21. flut / 长笛 /  
    　選定理由: フルートは中国語で「长笛」。最も一般的な表記。  
    　学習コスト: 「长」(8画)「笛」(11画)計19画。笛(竹偏)も基礎的な部首。
22. trumpet / 小号 /  
    　選定理由: トランペットは「小号」が中国語で一般的(喇叭は汎用のラッパ)。  
    　学習コスト: 「小」(3画)「号」(5画)で8画と少ない。すでに「号角」で「号」は再利用。
23. tambur / 鼓 /  
    　選定理由: ドラム全般を指す漢字としてシンプルに「鼓」が最適。  
    　学習コスト: 1文字で13画ほどだが、太鼓やドラムの概念として広く周知。
24. tamtam / 锣 /  
    　選定理由: タムタム(tamtam)は大きな銅鑼(ゴング)の一種なので、単に「锣」で対応可。  
    　学習コスト: 「钅」(金属)偏＋「罗」で構成。1文字(13画)でゴング類を示せる。

cimbal / 钹 / 中国語でシンバルを指す正式な単字 / 金偏(钅)の再利用で他の楽器名(铃など)とも部首が共有可

* + 解説: 「钹(bó)」は中国語で金属製の打楽器“シンバル”を指す常用字。日本語ではあまり馴染みがないが、「鈸」の簡体字。
  + 学習コスト: 金属を表す「钅」(金偏)を使っており、他の打楽器名(例: 铃鼓の「铃」)にも応用できる。

1. violonĉel / 大提琴 / 中国語でチェロを指す一般名称 / 「琴」を含むことで「口琴」など他の単語とも関連付け可能
   * 解説: 中国語でチェロは「大提琴(dàtíqín)」。日本語にも「大提琴」は音訳語として存在する。
   * 学習コスト: 「琴」は楽器一般を表す際によく登場する常用字で、他語根(例: 口琴)との関連が持てる。
2. ksilofon / 木琴 / 中国語でシロフォンを指す最も一般的な名称 / 「琴」字の再利用
   * 解説: 中国語でxylophone(シロフォン)は「木琴(mùqín)」。
   * 学習コスト: 「琴」字を再度使用しており、violonĉelなどの「琴」と同じ要素を共有。
3. sopran / 女高音 / 中国語でソプラノを指す代表的呼称 / 「女」「音」の組合せは他の声部とも関連可
   * 解説: 「ソプラノ」は中国語で「女高音(nǚgāoyīn)」。
   * 学習コスト: 既出の「音」を再利用可能(たとえば ton=「音」など)。女性を表す「女」と音を表す「音」は頻出する要素。
4. tenor / 男高音 / 中国語でテノールを指す代表的呼称 / 「男」「音」を再利用
   * 解説: 「テノール」は中国語で「男高音(nángāoyīn)」。
   * 学習コスト: 「音」要素を流用。「男」は人を示す基本的な偏旁(田＋力)であり、難度も低い。
5. trombon / 长号 / 中国語でトロンボーンを指す常用名 / 「长(長)」「号」の組合せで比較的画数も少ない
   * 解説: トロンボーンは中国語で「长号(chánghào)」。他に「伸缩长号」と呼ぶ場合もあるが、簡略形として「长号」が一般的。
   * 学習コスト: 「号」は呼びかけ・信号・楽器名など広く使える字。
6. tamburin / 铃鼓 / 中国語でタンバリンを指す一般的名称 / 「钅」金偏を再利用
   * 解説: 「タンバリン」は中国語で「铃鼓(línggǔ)」。文字どおり「鈴の付いた小鼓」の意味。
   * 学習コスト: 「铃(líng)」には金偏(钅)が含まれ、cimbal(钹)とも部首を共有。
7. harmonik / 口琴 / 中国語でハーモニカを指す常用名 / 「琴」の再利用で楽器概念を共有
   * 解説: ハーモニカは中国語で「口琴(kǒuqín)」。「谐波」は“和音”や“倍音”の意味で別物。
   * 学習コスト: 「口」は基本部首、「琴」は既出。全体として画数も比較的少なめ。
8. harmonium / 簧风琴 / 中国語でリードオルガンを指す呼称 / 「风琴」は今後もパイプオルガン等で再利用可
   * 解説: 「harmonium」は中国語では「簧风琴(huángfēngqín)」が一般的(簧=リード片、风琴=オルガン)。
   * 学習コスト: 「风琴」はpipe organ(管风琴)などの“～风琴”で共通化できる。
9. diapazon / 音叉 / 中国語で音叉を指す最も一般的な名称 / 「音」の再利用
   * 解説: 「音叉(yīnchā)」は調律に用いる道具。“diapason”という言葉にも対応。
   * 学習コスト: すでに「音」字を多用しているので学習負荷を軽減しやすい。
10. gam / 音阶 / 中国語で音階を指す一般的な名称 / 「音」部首を再利用
    * 解説: 「音阶(yīnjiē)」は音楽理論上の“スケール”に相当。
    * 学習コスト: 「音」は既出、「阶(階)」も日常語「台阶」などで使用頻度が高い。
11. ton / 音 / 単独で“音/音調”を指せる基本字 / 今回の音楽関連語根で頻繁に再利用
    * 解説: 音楽における単音・音色・トーンを表す最もシンプルな字。
    * 学習コスト: 「音」はすでに女高音、男高音などでも活用しているため覚えやすい。
12. melodi / 旋律 / 中国語でメロディを表す代表的単語 / 日本語とも近い書き方で直感的
    * 解説: 「旋律(xuánlǜ)」は“メロディ”の意味。「曲调(qǔdiào)」も可能だが、比較的「旋律」の方が音楽的ニュアンスが明確。
    * 学習コスト: 「旋」はやや画数多めだが、日本語でも「旋律」という熟語があり馴染みやすい。
13. ritm / 节奏 / 中国語でリズムを指す最頻出の単語 / 「节(節)」は基本字で応用範囲広い
    * 解説: 「リズム」は中国語で「节奏(jiézòu)」。詩や韻律の「韵律」だと文芸寄りになるため、一般的な“リズム”は「节奏」。
    * 学習コスト: 「节」は簡体字で画数が少なく、学習しやすい。
14. takt / 节拍 / 中国語で拍子・拍を指す語 / 「节」を再利用
    * 解説: 「拍子」は日本語由来の意味が強く、中国語では「节拍(jiépāi)」が“拍子・小節の拍”の意味で通じる。
    * 学習コスト: 「节」はritm(节奏)でも出現、共通部首で負担を抑えられる。
15. orgen / 管风琴 / 中国語でパイプオルガンを指す名称 / 「风琴」を再利用可能
    * 解説: パイプオルガンは「管风琴(guǎnfēngqín)」が正式。器官=「器官(qìguān)」と誤解しないように注意。
    * 学習コスト: 「风琴」はharmonium(簧风琴)とも重複する部分があり、学習面でメリット。
16. gurd / 手摇风琴 / バレルオルガンや手回しオルガンに近いニュアンス / 「风琴」を再利用
    * 解説: barrel-organ, hurdy-gurdyに相当する語を中国語で厳密に訳すと「手摇风琴(shǒuyáo fēngqín)」などが近い。
    * 学習コスト: 「手(扌)+摇(手の動作)」＋「风琴」で構成。すでに「风琴」を使っているため学習負荷を抑えられる。
17. ŝalm / 肖姆 / ヨーロッパの古楽器シャルム(shawm)に対応する音訳 / 単字なしのため音訳熟語で対処
    * 解説: 「肖姆(xiāomǔ)」はshawmの音訳。あし笛(リード管楽器)としての中国名は定訳が少ないため、音訳が実質的な手段。
    * 学習コスト: 新出漢字「肖」「姆」は日常にも存在する(人名など)が、楽器専用としてはややマイナー。
18. ald / 女中音 / アルトを指す呼称(女性の中音域) / 「女」「音」は既出要素
    * 解説: 「アルト」=「女中音(nǚzhōngyīn)」。コーラスなどで中音域を指す表現。
    * 学習コスト: 「女」「中」「音」はいずれも基礎的な漢字で、他との連関も強い。
19. kontralt / 女低音 / コントラルトを指す呼称 / 「女」「音」の再利用
    * 解説: 「コントラルト」は中国語で「女低音(nǚdīyīn)」。アルトよりもさらに低い女性声域。
    * 学習コスト: すでに「女」「音」を多用しているため学びやすい。
20. orkestr / 管弦乐队 / オーケストラの一般表現 / 「管」をorganの管風琴と共有できる
    * 解説: 中国語で“オーケストラ”は「管弦乐队(guǎnxiányuèduì)」または「交响乐团」等。ここでは“管弦”を含む方が意味を直感しやすい。
    * 学習コスト: 「管」は管楽器や管風琴に含まれており、「乐」「队」も基礎漢字。
21. oktav / 八度 / 中国語でオクターブを指す単語 / 「八」は画数少なく覚えやすい
    * 解説: “オクターブ”は中国語で「八度(bādù)」。音程を示す基本用語。
    * 学習コスト: 「八」はごく初歩的、「度」も常用字。
22. salvi / 鼠尾草 / サルビア(セージ)の中国語名 / 単字化困難のため熟語表記
    * 解説: 「鼠尾草(shǔwěicǎo)」はセージ類(バジルなどハーブの一種)の一種として広く使われる名称。観賞用サルビアは別名「一串红」などもあるが、総称としては「鼠尾草」が無難。
    * 学習コスト: 「鼠」「尾」「草」の3字だが、それぞれ常用の範囲。
23. bazilisk / 蛇怪 / バジリスクを指す簡易表現 / 単字なしのため熟語で対応
    * 解説: 神話生物バジリスクは中国語で定訳が一定せず、直訳的に「蛇怪(shéguài)」とすることが多い(ファンタジー作品など)。
    * 学習コスト: 「蛇」も「怪」も常用字。画数は少なくはないが意味は把握しやすい。
24. bram / 鳊 / [魚]ブリームの一種(淡水)を指す単字 / 専門用字だが正確性を重視
    * 解説: 欧州などで食用とされる淡水魚“bream”は中国語で「鳊(biān)」や「欧鳊」等が正確。海のタイ科(鯛/鲷)ではないので注意。
    * 学習コスト: 一般にはマイナーな魚編の漢字。日本語圏では「鯛(鲷)」との混同が起こりやすいが、厳密性を優先。
25. braman
    * 提案漢字：梵
    * 選定理由：本来「婆罗门(Brahmin)」は3文字ですが、簡略的にインドの宗教・サンスクリット関連を連想させる「梵」を流用。厳密には「梵＝Brahman」の含意が強いため多少のずれはあるが、1文字でまとめるなら候補。
    * 既出・学習コスト等：新出漢字。日本語・中国語ともに宗教関連や「梵語」(サンスクリット)で見かけるため認知はしやすいかもしれない。
26. balzam
    * 提案漢字：香
    * 選定理由：バルサム(香りの良い樹脂)→「香(=fragrance)」で簡潔表現。実際の中国語では「香脂」など複数字が普通だが、1文字化を優先。
    * 既出・学習コスト等：比較的画数が少なく、日本語でも「香」は“かおり”として馴染みがある。
27. bismut
    * 提案漢字：铋
    * 選定理由：ビスマス(元素)の簡体字表記は「铋」。辞書的にも標準。
    * 既出・学習コスト等：新出漢字(左に金偏)、化学元素を指すとわかりやすい。
28. vermiĉel
    * 提案漢字：粉丝
    * 選定理由：中華圏で「vermicelli」の一般名称が「粉丝」。1文字にしづらいため2文字割当。
    * 既出・学習コスト等：どちらも比較的画数が少なめ。「粉」は日本語圏でも「粉(こな)」「粉末」などで認知しやすい。
29. prunel
    * 提案漢字：刺李
    * 選定理由：スモモ属の「黑刺李(黒刺李)」などと呼ばれるが、3文字は長いため「刺李」の2文字で簡略化。
    * 既出・学習コスト等：いずれも未出。「李(すもも)」は中国人には姓としても馴染みが深い。
30. glan
    * 提案漢字：橡子
    * 選定理由：アカン(ドングリ)は普通「橡子」と2文字で表すことが多い。1文字「橡」だけでは“オーク(橡胶樹/樹種)”との混同が生じやすいため、子を付した方が分かりやすい。
    * 既出・学習コスト等：やや画数多めだが、現行中国語辞典的には「橡子」が最も通じやすい。
31. karpen
    * 提案漢字：鹅耳枥
    * 選定理由：中国名は「鹅耳枥(ガチョウの耳＋枥)」が標準。1文字化が困難なので、正式名称を優先。
    * 既出・学習コスト等：3文字なのでやや学習コストは高いが、他に単字がなく未対応にするよりは意義あり。
32. frangol
    * 提案漢字：鼠李
    * 選定理由：クロウメモドキ属は中国語では「鼠李(Rhamnus)」と呼ぶことが多い。フラングラ(Frangula)もかつてはRhamnus属扱いだったため「欧鼠李」などとも。簡略化で2文字「鼠李」に統一。
    * 既出・学習コスト等：新出(やや難)漢字を含むが、buckthorn系をまとめやすい。
33. pini
    * 提案漢字：松
    * 選定理由：マツ科全般を表す「松」は1文字で通じやすい。
    * 既出・学習コスト等：画数が少なく、中国語でも日本語でも“松”はポピュラー。
34. sorp

* 提案漢字：花楸
* 選定理由：ナナカマド(ソルブ)は中国語で「花楸(花＋楸)」と書くのが一般的。単字がないため2文字に。
* 既出・学習コスト等：新出。「楸」はやや画数多めだが、他に標準的な略称が少ない。

1. acer

* 提案漢字：枫
* 選定理由：カエデ類は簡体字で「枫」(繁体字:楓)が標準。1文字で定着している。
* 既出・学習コスト等：木偏＋風の簡化形に近く、日本語でも「かえで＝楓」で連想しやすい。

1. tili

* 提案漢字：椴
* 選定理由：ボダイジュ(Tilia)は中国語で「椴树」など。1文字で指すなら「椴」。
* 既出・学習コスト等：やや馴染み薄いが、正式名称としてはこれが妥当。

1. gajl

* 提案漢字：五倍子
* 選定理由：植物性の“ふし”(gall-nut)は中国語で「五倍子」が代表的。1文字化不可のため3文字割当に。
* 既出・学習コスト等：やや長いが、染料などにも用いられる語として定着している。

1. fab

* 提案漢字：蚕豆
* 選定理由：ソラマメ(broad bean)は中国で「蚕豆」が一般的。1文字「豆」だと豆類全般なので、より正確に2文字。
* 既出・学習コスト等：画数はそこまで多くない。「豆」は既出(15番とも関係)にしやすい。

1. fazeol

* 提案漢字：菜豆
* 選定理由：インゲンマメ(Phaseolus)をまとめて「菜豆」と称する場合が多い。
* 既出・学習コスト等：豆は14番の「蚕豆」と同じ部位を再利用。「菜」は画数が少なくはないが比較的ポピュラー。

1. datur

* 提案漢字：曼陀罗
* 選定理由：チョウセンアサガオ(Datura)を指す一般的名称。1文字化は不可能に近い。
* 既出・学習コスト等：3文字で少々長いが、中国語圏でも確立した呼称。

1. karob

* 提案漢字：角豆
* 選定理由：イナゴマメを中国語で「角豆」と呼ぶ。2文字のため比較的シンプル。
* 既出・学習コスト等：豆を既に(14,15)で使っており学習しやすい。

1. cikori

* 提案漢字：菊苣
* 選定理由：キクヂシャ(チコリ)は中国語で「菊苣」。略称や1文字はないため2文字で対応。
* 既出・学習コスト等：新出(「苣」はレタス類で見かける)だが、同系野菜で広く使われる。

1. cedr

* 提案漢字：雪松
* 選定理由：セイヨウスギ(“真の杉”=cedar)は中国語では「雪松」と呼ばれるのが一般的。
* 既出・学習コスト等：松は(9)で既出。「雪」は新出だが比較的画数も多くなく連想しやすい。

1. narcis

* 提案漢字：水仙
* 選定理由：スイセン→中国語で「水仙」。2文字呼称が広く定着。
* 既出・学習コスト等：ごく日常的な植物名として認知度は高い。

1. sinap

* 提案漢字：芥
* 選定理由：カラシナ(マスタード)の漢字として最も端的なのが「芥(かい/jiè)」。
* 既出・学習コスト等：画数はそれほど多くなく、1文字で「マスタード」の意味を示せる。

1. lonicer

* 提案漢字：忍冬
* 選定理由：スイカズラ(honeysuckle)の別名が「忍冬」。金银花(きんぎんか) とも呼ばれるが2文字の「忍冬」を優先。
* 既出・学習コスト等：新出2文字。中国語の生薬名としては有名。

1. gliciriz

* 提案漢字：甘草
* 選定理由：カンゾウ(リコリス)は中国語で「甘草」が標準。2文字で定着。
* 既出・学習コスト等：中薬や菓子フレーバーでも知られるため、比較的覚えやすい。

1. heder

* 提案漢字：常春藤
* 選定理由：キヅタ(アイビー)は中国語で「常春藤」。1文字化なし。
* 既出・学習コスト等：3文字だが、中国語でも園芸等で頻出。

1. urtik

* 提案漢字：荨麻
* 選定理由：イラクサ(netttle)の簡体字が「荨麻」。2文字が一般的。
* 既出・学習コスト等：生薬名などでもしばしば登場する表記。

muskat

* + 提案漢字: 肉豆蔻
  + 選定理由: 中国語におけるナツメグの代表的表記「肉豆蔻」を採用。日本語話者も「肉」「豆」でスパイスを想像しやすい。
  + 学習コスト: 「肉」は後述の「肉桂」(シナモン)と共通しており、重複利用が期待できる。

1. juniper
   * 提案漢字: 杜松
   * 選定理由: 中国語でネズやジニパーを指す名称の一つ。比較的画数が抑えられる。
   * 学習コスト: 特に他の割当との偏旁共有はないが、二文字で十分に意味を伝えられる。
2. mili
   * 提案漢字: 小米
   * 選定理由: 中国語圏ではキビやアワなど小粒穀物を指す際に「小米」が広く通用し、画数も少ない。
   * 学習コスト: 「米」は穀類全般への転用があり得るので有用。
3. papav
   * 提案漢字: 罂粟
   * 選定理由: ケシを表す最も一般的な中国語表現。やや画数は多いが、専門用語として定着している。
   * 学習コスト: 固有の二文字だが、他への転用はあまり想定しにくい。
4. fenkol
   * 提案漢字: 茴香
   * 選定理由: フェンネル(ウイキョウ)を指す標準的な中国語。「茴香」は日本語でもスパイス名として見かける。
   * 学習コスト: 「香」はのちに「百里香」(タイム)、「丁香」(クローブ)とも共有できる。
5. ileks
   * 提案漢字: 冬青
   * 選定理由: モチノキ科一般を指す際にも使われる中国語表現。日本語でも「冬青(ふゆあおぎ)」の読みがあり、連想しやすい。
   * 学習コスト: 比較的画数は少なく、既出偏旁との重複も少ないが、単語としては定着している。
6. artiŝok
   * 提案漢字: 洋蓟
   * 選定理由: アーティチョークを指す中国語。別名「朝鲜蓟」より画数が少なくシンプル。
   * 学習コスト: 他への転用は少ないが、標準的名称として妥当。
7. kren
   * 提案漢字: 辣根
   * 選定理由: ホースラディッシュの中国語表現。文字通り「辛い根」で分かりやすい。
   * 学習コスト: 「根」は今後別の植物部位を表すときにも再利用可能。
8. timian
   * 提案漢字: 百里香
   * 選定理由: タイムの代表的中国語名。「香」は香草・スパイス系で頻出し、日本語でも「タイム=百里香」の表記がある。
   * 学習コスト: 「香」はフェンネル(茴香)、クローブ(丁香)と共通で重複利用による学習負担軽減。
9. cinam

* 提案漢字: 肉桂
* 選定理由: シナモンを示す名称の一つ。中国語では「桂皮」もあるが、すでに「肉豆蔻」で「肉」を使っているので画数削減のため共通化。
* 学習コスト: 「肉」を使い回すことでユニーク文字数を削減可能。

1. kamfor

* 提案漢字: 樟脑
* 選定理由: カンフル(ショウノウ)の正式な中国語名称。日本語「樟脳」と同根。
* 学習コスト: いずれもやや画数はあるが、固有名詞としてやむを得ない。

1. kariofil

* 提案漢字: 丁香
* 選定理由: クローブ(丁子)の中国語名称。「香」部を再利用。日本語でも「丁香」の表記例あり。
* 学習コスト: 「香」は既出。二文字で済むため比較的負担は小さい。

1. cipres

* 提案漢字: 柏
* 選定理由: イトスギや糸杉系を指すときにも「柏」が用いられる。木のイメージが分かりやすく画数も少ない。
* 学習コスト: 一文字で表現でき、学習負担は小さい。

1. okzal

* 提案漢字: 酸模
* 選定理由: スイバを指す中国語として比較的通用する。「酸」は味の連想がしやすい。
* 学習コスト: 2文字で済むが画数はやや多め。ほかへの転用は限定的。

1. zingibr

* 提案漢字: 姜
* 選定理由: ショウガの最も標準的な一文字表記で、中国語でも日常的。日本語でも「姜」の音読みは「きょう」。
* 学習コスト: 一文字で済むため学習負担が低い。

1. lol

* 提案漢字: 黑麦草
* 選定理由: ライグラスを指す際によく使われる中国語表現。「黑麦」(ライ麦)に「草」を添えた形。
* 学習コスト: 3文字だが「麦」「草」は他穀物・植物で再利用可能。

1. rabarb

* 提案漢字: 大黄
* 選定理由: ダイオウを指す最も一般的な中国語表現。日本語も同じく「大黄」と書くため対応しやすい。
* 学習コスト: 二文字かつ比較的画数が少ない。

1. popl

* 提案漢字: 杨
* 選定理由: ハコヤナギ(ポプラ)の簡体字表記として「杨」が使われる。より正確には「白杨」だが、一文字で簡潔に。
* 学習コスト: 木偏を含むが、一文字で済むため負担は小さい。

1. peoni

* 提案漢字: 芍药
* 選定理由: シャクヤクを指す中国語標準名。日本語でも「芍薬」と書くため意味の連想が容易。
* 学習コスト: 二文字だが、固有名詞としては妥当。

1. kakt

* 提案漢字: 仙人掌
* 選定理由: サボテンの中国語名として定着。日本語でも漢字で「仙人掌」と書く例がある。
* 学習コスト: 三文字だが、中国語話者には非常に分かりやすい表記。

1. spinac

* 提案漢字: 菠菜
* 選定理由: ホウレンソウを指す一般的な中国語名。日本語でもスパイスや漢方名などで「菠菜」と書かれる場合がある。
* 学習コスト: 「菜」は他の野菜でも再利用可能。

1. kratag

* 提案漢字: 山楂
* 選定理由: サンザシの中国語における標準的な名称で、日本語でも「山査子」と書くことがある。
* 学習コスト: 二文字で画数も比較的少なく、意味を連想しやすい。

1. mahagon

* 提案漢字: 桃花心木
* 選定理由: マホガニーを指す一般的な中国語名。日本語でも同様に「桃花心木」と呼ぶ。
* 学習コスト: 四文字かつ画数も多いが、固有名詞のためやむを得ない。

1. tremol

* 提案漢字: 白杨
* 選定理由: アスペン(ポプラの一種)を示す際、「白杨」が一般的。「杨」でポプラ全般を示すが区別のため二文字表記。
* 学習コスト: 既出「杨」との組合せにより、文字の重複を活かせる。

1. onobrik

* 提案漢字: 红豆草
* 選定理由: イガマメ(サンフォイン)を指す中国語名称として見られる。「豆」を「肉豆蔻」の「豆」と共有し画数削減。
* 学習コスト: 三文字だが「豆」は再利用、「草」は他の草本植物でも用いられる。

visk / 槲寄生 / 標準的な中国語名（ヤドリギ）；日本語でも「ホキ寄生」の表記例あり / 新規3字（槲・寄・生）

* liken / 地衣 / 中国語で地衣は“地表(岩石等)上に生える苔・菌類の類”を指し、日本語でも「地衣」は「地衣類」の学術用語として通じる / 新規2字（地・衣）
* stip / 针茅 / 「Stipa(ハネガヤ属)」の中国名“针茅属”から2字を採用；「針+茅」で羽のような細いイメージ / 新規2字（针・茅）
* filik / 蕨 / シダ全般を指す字として中国語「蕨类」、日本語「蕨(わらび)」でも通用 / 新規1字（蕨）
* hiacint / 风信子 / 中国語標準名；日本語でも「風信子(フウシンシ)」の表記例あり / 新規3字（风・信・子）
* hortensi / 绣球 / 中国語では「绣球花」(アジサイ)が一般的；「花」を省略して2字化 / 新規2字（绣・球）
* endivi / 苦苣 / 中国語では「苦苣」(エンダイブ・チコリ系)が通用；「苦」は味、「苣」はレタスやチコリの類 / 新規2字（苦・苣）
* gardeni / 栀子 / 「栀子花」の省略形；庭先でよく植えられる花の一種 / 新規2字（栀・子）  
  （同じ“子”が「风信子」と重複しているが、歓迎すべき重複）
* kalendul / 金盏菊 / 「金盏菊」はカレンデュラ(ポットマリーゴールド)の中国語名 / 新規3字（金・盏・菊）  
  （“菊”は後の「菊(クrizantem)」と重複）
* krizantem / 菊 / キク類は中国語で“菊(花)”；日本語でも菊 / 新規1字（菊）  
  （すでに9番の「菊」と重複）
* balzamin / 凤仙 / 中国語「凤仙花」(ホウセンカ)；花を省略し2字で / 新規2字（凤・仙）
* genist / 金雀 / 中国語「金雀花」(broom)；日本語でも「金雀花(エニシダ)」 / 新規2字（金・雀）  
  （“金”は「金盏菊」と重複済み）
* pistil / 雌蕊 / 雌しべ(植物学用語)の中国語；日本語でも「雌蕊」は学術用語として通じる / 新規2字（雌・蕊）
* bast / 韧皮 / 樹木の内皮(靱皮・ phloem)；中国語で「韧皮部」として知られる / 新規2字（韧・皮）
* fuk / 海藻 / Fucus(ヒバマタ属)は「海藻」の一種；中国語でも海洋性の藻類を総称して「海藻」 / 新規2字（海・藻）
* ricin / 蓖麻 / 中国語も日本語も「蓖麻」(ヒマ)で通じる；リシン(毒成分)の語源 / 新規2字（蓖・麻）  
  （“麻”は後の「kanab」と重複可能）
* lin / 亚麻 / Flaxは中国語「亚麻」；日本語でも「亜麻」と表記 / 新規2字（亚・麻）  
  （“麻”は16番と重複）
* kanab / 麻 / Hemp(大麻)の代表字；中国語・日本語とも「麻」 / 新規1字（麻）  
  （16番・17番と重複済み）
* sorg / 高粱 / Sorghumの中国語標準名；日本語「コウリャン」に対応 / 新規2字（高・粱）
* maiz / 玉米 / トウモロコシの中国語標準名 / 新規2字（玉・米）
* aven / 燕麦 / オーツ麦の中国語；日本語「燕麦(エンバク)」とも表記 / 新規2字（燕・麦）
* horde / 大麦 / Barleyの中国語；日本語「大麦(おおむぎ)」とも表記 / 新規2字（大・麦）
* piz / 豌豆 / エンドウ(pea)の中国語標準名；日本語「豌豆(えんどう)」 / 新規2字（豌・豆）
* plantag / 车前草 / オオバコの中国語標準名「车前草」；「车前」と省略される場合も多い / 新規3字（车・前・草）
* akvilegi / 耧斗菜 / オダマキ(Columbine)の中国語名 / 新規3字（耧・斗・菜）
* kamomil / 甘菊 /  
  理由: 中国語では「洋甘菊(洋カモミール)」が一般的だが、短縮形である「甘菊」も通じる。日本語の「カミツレ(カモミール)」とも「菊」という連想がしやすい。  
  既出・学習コスト: 「甘(5画)」「菊(11画)」はいずれも比較的学習しやすく、日本語圏でも“カン/キク”で想像しやすい。
* kameli / 山茶 /  
  理由: 中国語でツバキ属全般は「山茶(花)」と呼ぶことが多い。日本語の「椿(つばき)」も「山茶花(サザンカ)」などとの関連でイメージ可能。  
  既出・学習コスト: 「山(3画)」は画数が少ないため、他でも再利用しやすい。「茶(9画)」は日本人にも馴染み深い。
* lap / 牛蒡 /  
  理由: ゴボウは日中で「牛蒡」と表記し、ともに通じやすい。単字では対応がないため2文字を採用。  
  既出・学習コスト: 「牛(4画)」「蒡(12画)」はいずれも新出だが、日本語でも「牛蒡」で馴染みがある。
* kapor / 刺山柑 /  
  理由: ケーパーの実を付ける「caper bush」は中国語で「刺山柑(ついざんかん)」が一般的。  
  既出・学習コスト: 「山」は再利用(2)。「刺(6画)」「柑(8画)」は新出だが、植物名としては比較的定着している。
* nap / 油菜 /  
  理由: アブラナ属(菜種、カブラ類も含む)を総称して中国語で「油菜」がよく用いられる。  
  既出・学習コスト: 「油(8画)」「菜(11画)」はいずれも基本的な漢字で、日本語圏にも「油菜」「菜の花」イメージがしやすい。
* rap / 芜菁 /  
  理由: カブ(タネツケバナ類)のうち欧州系のものを中国語では「芜菁(ウチン)」と呼ぶことが多い。  
  既出・学習コスト: 「芜(7画)」「菁(8画)」はいずれもやや専門的だが、中国語としては標準的。
* bulb / 洋葱 /  
  理由: 玉ねぎは中国語で「洋葱(ヤンツォン)」。日本語の「玉葱(タマネギ)」とも「葱」で通じやすい。  
  既出・学習コスト: 「洋(9画)」「葱(12画)」は新出だが、“玉ねぎ”の標準表記として理解しやすい。
* ranunkol / 毛茛 /  
  理由: キンポウゲ属は中国語で「毛茛(マオゲン)」。バターカップやラナンキュラス全般を指す。  
  既出・学習コスト: 「毛(4画)」「茛(9画)」はいずれも専門性が高いが、単字での対応がないため採用。
* absint / 苦艾 /  
  理由: ニガヨモギ(アブサンに用いる)は中国語で「苦艾(クーアイ)」が分かりやすい。  
  既出・学習コスト: 「苦(8画)」「艾(5画)」は比較的画数が少ないほうで、ヨモギ(艾)との関連で中国人に馴染み深い。
* vink / 长春花 /  
  理由: ニチニチソウ(ペリウィンクル)は中国語で「长春花(チャンチュンホア)」。別名「日日春」とも。  
  既出・学習コスト: 「长(4画)」「春(9画)」「花(7画)」。後述の「花」なども出現するため、ある程度再利用可能。
* levkoj / 紫罗兰 /  
  理由: アラセイトウ(ストック)は中国語で一般に「紫罗兰(ズィルオラン)」と総称する。日本語の「紫羅欄花」表記とも対応。  
  既出・学習コスト: 「紫(11画)」「罗(8画)」「兰(5画)」はやや画数があるが、中国語では広く知られている花名。
* viburn / 荚蒾 /  
  理由: ガマズミ属は中国語で「荚蒾(ジアミ)」。日本語でも「莢蒾」と書く場合がある。  
  既出・学習コスト: 「荚(9画)」「蒾(11画)」はいずれも植物学上の表記で、他に単字がないため採用。
* konvolvul / 旋花 /  
  理由: ヒルガオ(コンボルブルス属)は中国語で「旋花(シュアンホア)」と呼ぶ。  
  既出・学習コスト: 「旋(11画)」「花(7画)」。ここで「花」を再利用。
* siring / 紫丁香 /  
  理由: ライラックは「丁香(ディンシャン)」、特に紫色を強調する場合「紫丁香」とも。“丁香”だけだとクローブ(香辛料)を指す場合もあるため「紫丁香」がより明確。  
  既出・学習コスト: 「紫」は(11)で既出。「丁(2画)」「香(9画)」はいずれも中国語の基本語。
* nimfe / 睡莲 /  
  理由: スイレンは中国語で「睡莲(シュイリエン)」。日本語でも「睡蓮」で同じ字を使う。  
  既出・学習コスト: 「睡(13画)」「莲(7画)」(日本の「蓮」の簡体字)。やや画数多めだが共通認識がある。
* lili / 百合 /  
  理由: ユリは「百合(バイフー)」が中日ともに基本的な書き方。  
  既出・学習コスト: 「百(6画)」「合(6画)」はいずれも初出だが画数は少なめ。
* konval / 铃兰 /  
  理由: スズランを中国語で「铃兰(リンラン)」。日本語の「鈴蘭」の簡体字と一致。  
  既出・学習コスト: 「铃(7画)」「兰(5画)」。(11)で「兰」はすでに登場済み(紫罗兰の「兰」)。
* taksus / 紫杉 /  
  理由: イチイ(タイヘイヨウイチイ等)は中国語で「紫杉(ズィシン)」。  
  既出・学習コスト: 「紫」は(11)(14)ですでに使用。「杉(7画)」は初出だが、比較的画数が少ない。
* sambuk / 接骨木 /  
  理由: ニワトコは中国語で「接骨木(ジエグムー)」が一般的。  
  既出・学習コスト: 「接(11画)」「骨(9画)」「木(4画)」はいずれも基本漢字だが初出が多い。ただし汎用度は高い。
* fraksen / 梣 /  
  理由: トネリコ(アッシュ)の漢名は単字で「梣(チン)」。ややマイナーだが正式表記。  
  既出・学習コスト: 「梣(10画)」は専門性が高いが一字で済むため採用。
* ment / 薄荷 /  
  理由: ミント類は中国語で「薄荷(ボーフー)」。日本語の「ハッカ」も「荷」のイメージで連想可能。  
  既出・学習コスト: 「薄(16画)」「荷(10画)」はいずれも初出だが、「荷」は“ハス”の意味もあり有名。
* erik / 石南 /  
  理由: ヒース属(ヘザー)は中国語で「石南(シーナン)」(“欧石南”等)。日本語でも稀に「石南花」。  
  既出・学習コスト: 「石(5画)」「南(9画)」。シンプルな漢字2文字。
* galant / 雪滴花 /  
  理由: スノードロップ(Galanthus)は中国語で「雪滴花(シュエディホア)」と呼ぶのが一般的。  
  既出・学習コスト: 「雪(11画)」「滴(14画)」「花(7画)」。花(13)ほかで既出。「雪」は比較的よく使われる。
* junk / 灯心草 /  
  理由: イグサ(Juncus)は中国語で「灯心草(デンシンツァオ)」が標準。日本語「灯心草」表記もあり。  
  既出・学習コスト: 「灯(6画)」「心(4画)」「草(9画)」。どれも割と初歩的漢字で、日本語でも理解しやすい。
* kan / 芦苇 /  
  理由: アシ・ヨシなどの「reed, cane」は中国語で「芦苇(ルーウェイ)」。日本語でも「葦(芦)」の字が通じやすい。  
  既出・学習コスト: 「芦(7画)」「苇(7画)」。同じく画数は多くない。

kverk / 栎 /

* + 選定理由: 「栎」(lì) は中国語で「栎属・橡树(オーク類)」を指す常用字の一つ。画数は比較的少なく、意味も合致。
  + 学習コスト: 偏旁は「木」。他の樹木系割当に再利用しやすい。

1. aln / 桤 /
   * 選定理由: 「桤」(qī) はハンノキ(Alder)を指す漢字。
   * 学習コスト: 偏旁「木」を再利用。ややマイナーだが単字割当を優先。
2. musk / 苔 /
   * 選定理由: 「苔」(tái/たい) は苔(コケ)を意味し、中日双方で比較的認知しやすい。
   * 学習コスト: 偏旁「艹」を他の植物名でも使用。
3. pedik / 虱 /
   * 選定理由: 「虱」(shī) は「シラミ」を示す字。簡体・日本語とも同形で混乱が少ない。
   * 学習コスト: 単独字で画数8画と比較的少なめ。
4. larik / 落叶松 /
   * 選定理由: カラマツは中国語で通称「落叶松」。1文字表記は無いため正確さを優先して3文字熟語を採用。
   * 学習コスト: 偏旁は「艹」「木」など複数含むが、正式名称を重視。
5. kard / 蓟 /
   * 選定理由: 「蓟」(jì) はアザミ類(ヒレアザミ)を指す単字。
   * 学習コスト: 偏旁「艹」の再利用。
6. malv / 葵 /
   * 選定理由: ゼニアオイ(錦葵)の「葵」(kuí/あおい) は日中で「アオイ科」を連想しやすい。
   * 学習コスト: 偏旁「艹」利用。1文字なので比較的シンプル。
7. cejan / 矢车菊 /
   * 選定理由: ヤグルマギクは中国語で「矢车菊」(yǐ chē jú) が一般的。1文字表記なし。
   * 学習コスト: 3文字だが、植物として広く通用する名称。
8. miozot / 勿忘草 /
   * 選定理由: ワスレナグサは中国で「勿忘草」(wù wàng cǎo) とも呼ばれる。
   * 学習コスト: 常用字(勿/忘/草) で構成され認知しやすい。
9. melis / 香蜂草 /

* 選定理由: レモンバーム(メリッサ)は中国語で「香蜂草」(xiāng fēng cǎo) と呼ばれることが多い。
* 学習コスト: 「艹」偏旁を再利用。単字での正式名は存在しない。

1. mimoz / 含羞草 /

* 選定理由: ミモザ属の代表的名称として「含羞草」(hán xiū cǎo) が非常に有名(特にオジギソウ)。
* 学習コスト: 3文字熟語だが、中国語圏での認知度が高い。

1. rezed / 木犀草 /

* 選定理由: モクセイソウ(ミニョネット)は「木犀草」(mù xī cǎo) とも呼ばれる。
* 学習コスト: 「木」「犀」「艹」など偏旁は多いが、正式名称を優先。

1. lent / 小扁豆 /

* 選定理由: レンズマメは中国で「小扁豆」(xiǎo biǎn dòu) と呼ばれる場合が多い。
* 学習コスト: 「豆」偏旁が他の豆類にも使い回せる。

1. laktuk / 莴苣 /

* 選定理由: レタスは中国語で正式に「莴苣」(wō jù) と言う(「生菜」と呼ぶ地域も)。
* 学習コスト: 「艹」偏旁再利用。2文字熟語で画数はやや多め。

1. vinjet / 花饰 /

* 選定理由: 「vignette(装飾カット)」のイメージとして「花饰」(huā shì) を提案。直訳で「花の装飾」。
* 学習コスト: 「花(艹部)」+「饰(饣部)」。比較的わかりやすい2文字。

1. garnitur / 配饰 /

* 選定理由: 「装身具一式」「アクセサリーセット」に近い中国語として「配饰」(pèi shì) が一般的。
* 学習コスト: 「饰」(飾) を再利用しつつ、セット感を表す「配」を加えた2文字熟語。

1. garn / 饰 /

* 選定理由: 本来「補強・強化」など広い意味があるが、ここでは「装飾・飾る」面を重視し簡体字「饰」(shì) を割当。
* 学習コスト: 既に「配饰」「花饰」などで用いている「饰」を使い回す。

1. ornam / 饰 /

* 選定理由: 「ornam」は「装飾」を意味し、まさに「饰」に相当。
* 学習コスト: 上記(17) と同じく「饰」を使い回すことで新たな字を増やさない。

1. dekoraci / 饰 /

* 選定理由: 「装飾」「飾りつけ」の意で、同じく「饰」へ集約。
* 学習コスト: 同上。複数エスペラント語根を同一漢字で賄う方針。

1. diskont / 贴现 /

* 選定理由: 商業上の「(手形)割引」は中国語で「贴现」(tiē xiàn) が専門用語として定着。
* 学習コスト: 2文字熟語。金融用語として認知度も高い。

1. rabat / 折扣 /

* 選定理由: 割引全般を表す一般的な言い方は「折扣」(zhé kòu)。
* 学習コスト: 日常商取引でも頻出し、比較的認知度が高い2文字。

1. likvid / 清算 /

* 選定理由: [商]清算・整理の意味は「清算」(qīng suàn) が対応。
* 学習コスト: 漢字2文字だが、会計・法務分野で広く使われる。

1. amortiz / 摊销 /

* 選定理由: 会計用語で「(原価)償却・(負債)分割返済」の意は「摊销」(tān xiāo) が最も近い。
* 学習コスト: やや画数多めだが、専門用語としては定番。

1. evit / 避 /

* 選定理由: 「避」(bì) は「避ける」「回避する」を直接的に表す単字。
* 学習コスト: 1文字割当。画数は16だが、意味が非常に明確。

1. de/ten## / 阻止 /

* 選定理由: 「(を)引きとめる」「阻む」の意は中国語で「阻止」(zǔ zhǐ) が最も一般的。
* 学習コスト: 2文字で、どちらも常用字。

border / 边 / 「辺(ヘン)」の簡体字。境界・へりを示す / 新出

1. ekskomunik / 逐 / 本来は「追い払う」「追放する」などの意。宗教的な“破門”のニュアンスを簡略化 / 新出
2. ced / 让 / 「譲る，譲歩する」のイメージ。日本語「譲(ゆず)る」に相当 / 新出
3. las / 放 / 「放す，手放す」のイメージ。日本語「放(はな)す」に近い / 新出
4. rezign / 退 / 「退く」「辞任する」「放棄する」等のイメージをまとめて簡略化 / 新出
5. abdik / 退 / 「退位する」「辞する」。5番と同じ字を再利用して学習コストを削減 / (既出: 退)
6. ekzil / 放逐 / 「放って追い出す」→「放逐＝追放」の意。放(4番)＋逐(2番) を組み合わせ / (偏旁再利用)
7. emancip / 解放 / 「解き放つ」の意。解は「解く/ほどく」，放は4番と同じ / (偏旁再利用)
8. dis / 分 / 「ばらばらに分かれる/分散する」の意 / 新出
9. divid / 分 / 「分割する」の意味合い。9番と同字を再利用 / (既出: 分)
10. distribu / 分配 / 「分け与える」の意。分(既出)＋配(新出) / (部分再利用)
11. ekstrakt / 抽 / 「抽出する」「抜き出す」の意。日本語の「抽出」と同根 / 新出
12. deriv / 派生 / 「派生させる」の意。派(新出)＋生(17番で再利用予定)
13. dedukt / 推 / 「推理する」「推定する」など，“推し量る”イメージ / 新出
14. esting / 灭 / 「消す，滅する」。日本語「滅(めつ)」の簡体字 / 新出
15. solv / 解 / 「解決する」「解く」の意。8番「解放」の解と同じ字 / (既出: 解)
16. kresk / 生 / 「成長する」。最も基本的な「生(う)む/生(は)える」のイメージ / 新出
17. veget / 生 / 「植物が生育する」「植生する」の意。17番と同字を再利用 / (既出: 生)
18. ekspluat / 开发 / 中国語で「開発」「開拓」。ポジティブな「開発する」ニュアンス / 开(新出)＋发(新出)
19. progres / 进步 / 「進歩する」の意。进(新出)＋步(新出)
20. evolu / 进化 / 「進化する」。进(20番で登場)＋化(新出)
21. evoluci / 进化 / (名詞形「進化」も同じ熟語で簡略化) / (既出再利用)
22. fal / 落 / 「落ちる」。日本語でも「落下」「落ちる」に通じる字 / 新出
23. redukt / 减 / 「減らす」「縮小する」の意。日本語「減(げん)」の簡体字 / 新出
24. degrad / 降 / 「降格する」「地位を下げる」の意。日本語でも「降(こう)」と読める / 新出

kaduk / 衰 /  
選定理由: 老朽・衰弱といったニュアンスを包含できるため。「老」「朽」などとも近いが、同じく“衰え”に関わる語根とまとめる目的で「衰」を使用。  
既出・学習コスト: 今後「衰」で他の“衰退系”語根も統合予定。漢字数削減に寄与。

1. degener / 衰(※同字他義) /  
   選定理由: 生物学的な退化・衰退も含め「衰」が持つ“弱まる”イメージを転用。  
   既出・学習コスト: 「kaduk」と同じ「衰」を再利用。追加学習不要。
2. velk / 衰(※同字他義) /  
   選定理由: 本来は「枯」(枯れる)が適切だが、学習コスト低減を最優先し「衰」で兼用。枯萎＝衰えてしぼむニュアンス。  
   既出・学習コスト: 同じく「衰」再利用。
3. dekadenc / 衰(※同字他義) /  
   選定理由: デカダンス(衰退、頽廃)を表す語。ここでも“衰退”として「衰」を転用。  
   既出・学習コスト: 既出「衰」の再利用。
4. putr / 腐 /  
   選定理由: 腐敗・腐朽を直接表す簡体字として最適。  
   既出・学習コスト: 新字(「腐」)だが、腐敗関連語根をまとめる重要字。
5. pere / 亡 /  
   選定理由: 「亡」は“滅びる/死ぬ/無くなる”などを連想しやすい。日本語の「死亡」や中国語の“死亡”“灭亡”とも繋がる。  
   既出・学習コスト: 新字(「亡」)だが画数が少なく覚えやすい。
6. bankrot / 破 /  
   選定理由: “破産”をイメージしやすい「破」に転用(日本語「破産」、中国語でも“破产”など)。  
   既出・学習コスト: 新字(「破」)。今後「破損」「破壊」などに流用可能。
7. akcel / 速 /  
   選定理由: “加速”に近い意味を1字で表すなら「速」(スピード、速度)。日本語・中国語で「速度」「快速」などの連想が容易。  
   既出・学習コスト: 新字(「速」)。
8. impet / 冲 /  
   選定理由: “突進する、勢いよく飛び込む”をイメージしやすい簡体字。「冲」は“突き進む”ニュアンス。  
   既出・学習コスト: 新字(「冲」)。以降“勢い”系でも再利用の可能性あり。
9. impuls / 冲(※同字他義) /  
   選定理由: 衝動・ impulso は“突発的に沸き起こる勢い”という意味で「冲」のイメージと重なる部分がある。  
   既出・学習コスト: 「impet」と同字で区別は振り仮名・補註などで。
10. puŝ / 推 /  
    選定理由: “押す、押し進める”をシンプルに表す最適字。日本語「推す」、中国語「推」(推开、推进)などに対応。  
    既出・学習コスト: 新字(「推」)だが、後続でも“押す”系に使える。
11. ŝov / 推(※同字他義) /  
    選定理由: “押しやる、押し動かす”も広義に「推」でカバー可。  
    既出・学習コスト: すでに「puŝ」と同じ「推」を流用。
12. prem / 压 /  
    選定理由: “押さえる・圧迫する”を示す簡体字。日本語「圧」、中国語でも“压力”などで馴染み深い。  
    既出・学習コスト: 新字(「压」)。
13. trud / 迫 /  
    選定理由: “押し付ける、強要する”に適した字。中国語にも“逼迫(＝追い詰める、迫る)”などがある。  
    既出・学習コスト: 新字(「迫」)。今後、類似の強制・迫害系語根でも再利用可。
14. streĉ / 紧 /  
    選定理由: “緊張させる・張りつめる”は簡体字「紧」(繁体「緊」)。日本語の「緊急」などの要素とも近い。  
    既出・学習コスト: 新字(「紧」)。
15. urĝ / 急 /  
    選定理由: “差し迫る・急を要する”として直接的な「急」。日本語「急用」・中国語「急事」等で通じやすい。  
    既出・学習コスト: 新字(「急」)。画数は少なく覚えやすい。
16. insist / 执 /  
    選定理由: “固執する・やり抜く”イメージ。簡体「执」(繁体「執」)は“堅く持ち続ける”含意があり、“堅持”にも通じる。  
    既出・学習コスト: 新字(「执」)。
17. persekut / 迫(※同字他義) /  
    選定理由: “追い詰める・迫害する”は「逼」「迫」が候補だが、既に「trud」に「迫」を採用したため再利用。  
    既出・学習コスト: 「trud」と同じ「迫」を利用し学習コスト削減。
18. impon / 威 /  
    選定理由: “威圧する・大きな影響を与える”は「威」が分かりやすい。日本語「威圧」・中国語「威力」など。  
    既出・学習コスト: 新字(「威」)。
19. ribel / 反 /  
    選定理由: “反乱する”を最短1字で表現するなら「反」(反逆・反抗)。簡体字も同形。  
    既出・学習コスト: 新字(「反」)。画数4で簡潔。
20. revoluci / 革 /  
    選定理由: 革命=“革命”のイメージが強いが、1文字なら「革」。日本語「革命」、中国語「革命(GeMing)」の一文字目。  
    既出・学習コスト: 新字(「革」)。
21. parad / 游行 /  
    選定理由: 軍事パレードや行進イメージなら「游行」(“パレード”の意に近い)。1文字で完全に対応する字は乏しいため2文字熟語を採用。  
    既出・学習コスト: 「游」「行」両方とも新字だが、どちらも画数は少なめ(各6画)。
22. kapitulac / 降 /  
    選定理由: “降伏する”に対応。“投降”の後半字「降」を簡略使用。  
    既出・学習コスト: 新字(「降」)だが、今後“降参”などにも使いやすい。
23. pendol / 摆 /  
    選定理由: “振子(ゆらゆら揺れる)”の動作を表す「摆」(“摆动”=揺れる)。  
    既出・学習コスト: 新字(「摆」)。
24. oscil / 振 /  
    選定理由: “振動する”に近い単語。「振」(“振动”)を使う。  
    既出・学習コスト: 新字(「振」)。

flirt / 飘 / 「飘(飄)」は「飘动・飘扬(ひらひら翻る)」のイメージがあり、旗などが揺れ動くニュアンスに近い / 既出なし。比較的画数が少なく、日本語の「飄」とも近い

* flagr / 闪 / 炎が「閃(闪)く」「ひらめく」イメージで、短い輝きや揺らぎを表す際によく使われる / 既出なし。日本語の「閃」(旧字体)とも対応し、認知しやすい
* vibr / 振 / 「振动(振動)」で「振える・振動する」の意。手で振る動作なども表せる / 以下の「sku(振)」と同字割当。画数(10)はそこそこだが比較的認知度が高い
* trem / 震 / 「震動」「地震」など「揺れる・震える」の意味を強く持つ / 新出。日本語「震」(しん)とも対応し、意味を想起しやすい
* sku / 振 / 「(何かを)揺すぶる」「激しく振る」イメージ。「振荡(振盪)」などにも近い / 「vibr」と同字で割当(学習コスト削減)
* balanc / 摇 / 「上下に揺らす」「バランスをとるために揺れる」のニュアンス。「摇晃(ゆらゆら揺れる)」など / 新出。日本語の「揺」(旧字体)に対応
* lul / 摇 / 赤ん坊を揺らして寝かしつける意味。「摇篮(揺りかご)」を連想 / 「balanc(摇)」と同字で割当
* pep / 鸣 / 小鳥のさえずりや「鳴く」音をイメージ。「鸟鸣(鳥が鳴く)」など / 新出。日本語「鳴」と同源なので分かりやすい
* tord / 扭 / 「ねじる・よじる」の代表的単字。「扭动(よじる・捻る)」など / 新出。比較的画数が少なく、動作をイメージしやすい
* kirl / 搅 / 「かき混ぜる・かき回す」。中国語で「搅拌」「搅动」などに使われる / 新出。伝統的には「攪」だが簡体の「搅」はやや画数を抑えられる
* sving / 挥 / 「(手や物を)振る・振りかざす」。中国語「挥手(手を振る)」「挥动(振り動かす)」 / 新出。日本語の「揮」と同義
* ŝancel / 摇 / 「ぐらつかせる・よろめかせる」イメージ。「摇晃させる」など / 「balanc」「lul」と同字で割当(= 摇)
* strab / 斜视 / 「斜めに見る・やぶにらみ(斜視)」。1文字で表しづらいため熟語 / 新出(2文字)。中国語でも「斜视」は「いかにも斜めに見る(やぶにらみ)」の定番表現
* grinc / 吱 / きしむ音・軋む音の擬声語「吱吱」より。ドアの軋みや靴の軋みを表現 / 新出。擬音として簡体字でも使われる
* knar / 吱 / 「きしる」「軋む」という意味で14番とほぼ同義のため同字(擬音の流用) / 「grinc」と同字で割当
* kaŭr / 蹲 / 「しゃがむ・うずくまる」。中国語で「蹲下」は「しゃがむ」動作 / 新出。やや画数は多めだが他に適訳となる単字が少ない
* ŝim / 霉 / 「カビ・黴(かび)」。中国語でも「发霉(カビが生える)」という / 新出。日本語「黴」の簡体形で、発音の“メイ”も分かりやすい
* ĉif / 皱 / 「しわくちゃにする・しわが寄る」。中国語「皱纹(しわ)」「起皱(しわができる)」 / 新出。日本語「皺」の簡体形
* ŝrump / 缩 / 「縮む・しなびる」。中国語「收缩(収縮)」「缩小(縮小)」の「縮」に当たる / 新出。日本語「縮」の簡体形
* kalfatr / 填 / 「(隙間を)埋める、詰める、補修する」イメージ。厳密には「かすがい・コーキング」は「填缝」など / 新出。単字で「塞」にする案もあるが、「填(埋める)」を優先
* kluk / 咯 / ニワトリが「コッコッ」と鳴く声「咯咯」から。短い反復音 / 新出。ほかに「咕」等もあるが鶏の鳴き声は「咯咯」が代表的
* frot / 擦 / 「こする・摩擦する」。中国語で「擦拭(拭う)」「摩擦」などに使われる / 新出。画数は多めだが意味は広く馴染みやすい
* kolizi / 碰 / 「衝突する・ぶつかる」。中国語で「碰撞(衝突)」「相碰(ぶつかり合う)」など / 新出。日本語圏でも「碰」は衝突のイメージで理解しやすい
* ŝir / 撕 / 「引き裂く・ちぎる」。中国語「撕裂(引き裂く)」「撕开(破り開く)」など / 新出。やや画数は多いが「扯(引っ張る)」よりも「撕」のほうが“ちぎる”感が強い
* skrap / 刮 / 「削る・こそげ取る・こすり落とす」。簡体字で「刮风(風が吹く)」以外にも「刮胡子(ひげを剃る)」など“削る・こそぎ落とす”イメージが強い / 新出。画数は少なめ

1. lek / 舔 / 「舐める」の意味に対応 / 口偏(くちへん)を含む新規採用
2. pinĉ / 捏 / 「つまむ」の意味に最適 / 手偏(てへん)を用いる動作系の漢字
3. maĉ / 嚼 / 「かむ」「咀嚼する」を直接表す / 口偏だが画数多め、他に簡単な単字がなく妥当
4. mord / 咬 / 「かむ」の意味をストレートに表す / 口偏で再利用し学習コストを抑える
5. grat / 抓 / 「ひっかく」「かきむしる」に近い / 手偏で動作を表し、画数も少なめ
6. karambol / 撞 / ビリヤードで球が衝突するイメージ / 扌(手偏)＋「重」で「ぶつかる」動作を示す
7. pik / 刺 / 「刺す」「突き刺す」の意味 / 刀部(刂)を含み短く分かりやすい
8. bat / 打 / 「打つ」「殴る」の最も基本的な表現 / 手偏で画数も少なく学習しやすい
9. frap / 拍 / 「たたく」「軽く打つ」の意味 / 手偏で再利用、敲(ノック)より画数が少ない
10. grimac / 鬼脸 / 「鬼の顔」→「変顔・しかめ面」の慣用表現 / 2文字だが「grimace」として通じやすい
11. ŝerc / 玩笑 / 「冗談」「からかい」を表す一般的な語 / 2文字表現だが中国語で広く通用
12. rid / 笑 / 「笑う」を端的に表す / 竹冠(ちくかんむり)だが日中ともに認知度が高い
13. rikan / 讥笑 / 「あざ笑う・嘲笑する」の意味 / 「笑」と組み合わせ、皮肉・冷笑を分かりやすく表現
14. miaŭ / 喵 / 猫の鳴き声の擬声語 / 口偏で新規採用、中国語でも「ニャー」を表す
15. boj / 吠 / 犬などが「ほえる」動作 / 口偏で「吠える」の意味が明快
16. kri / 叫 / 「叫ぶ」「大声で呼ぶ」の基本的動詞 / 口偏で画数少なめ
17. blek / 鸣 / 動物(鳥・獣)の鳴き声を広く指す / 本来は鳥偏だが「鳴(鸣)」の概念を流用
18. fajf / 吹 / 「(口笛を)吹く」「息を吹く」の意味 / 口偏で再利用、単字でわかりやすい
19. murmur / 咕哝 / 「つぶやく」「小声でブツブツ言う」の常用表現 / 2文字だが中国語でよく使われる
20. grumbl / 抱怨 / 「不平を言う」「ぼやく」の意 / 2文字熟語だが「文句を言う」場面で日中とも通じる
21. sput / 吐 / 「唾・痰を吐く」の最も直接的な字 / 口偏・6画で学習コストが低い
22. vom / 呕 / 「嘔吐する」の動作を示す / 口偏(くちへん)＋区(く)の組み合わせで比較的画数少なめ
23. kraĉ / 吐 / 「唾を吐く」の意味でも重複割当 / 「吐」を再利用し学習負荷を削減
24. osced / 哈欠 / 「あくびをする」(打哈欠)の常用表現 / 2文字だが中国語日常用語として定着
25. tus / 咳 / 「せきをする」を単字で表す / 口偏8画で「咳嗽」の省略形として理解可能

tern（くしゃみをする）

* + tern / 嚏 / 「嚏」は「くしゃみ」を直接表す字 / 口偏＋帝（合計17画ほどとやや多い）
    - 単体で「嚏」はやや画数が多いですが、「くしゃみ」の意味としては正確です。

1. singult（しゃっくりをする）
   * singult / 嗝 / 「嗝」は「嗝儿(打嗝)＝しゃっくり・げっぷ」の音を表す / 口偏を再利用(13画)だが、一字で対応可
     + 中国語で「打嗝」という2文字表現がありますが、単字の「嗝」でも「しゃっくり・げっぷ」のニュアンスが伝わります。
2. ĝem（うめく・うなる）
   * ĝem /呻 / 「呻」は「呻吟(うめく)」の第一字 / 口偏＋申(合計7画)で比較的簡易
     + 「呻吟(しんぎん)」の略にも使われ、「呻」単体で「うめく」「うなる」意が含まれます。
3. ronk（いびきをかく）
   * ronk / 鼾 / 「鼾」は「いびき」を示す代表字 / 12画ほどだが単独で「いびき」を表す
     + 「打鼾(いびきをかく)」のうち、「鼾」一字に“いびき”の意味が凝縮されています。
4. kartav（[文] ｒ音をのどで発音する）
   * kartav / （未対応）/ 適切な単字が存在しないため割り当て見送り / ―
     + 咽頭・口蓋垂(uvular)Rの発音を示す単独の漢字がなく、2字熟語でもピンポイントなものがないため未割当としました。
5. laŭt（大声の）
   * laŭt / 响 / 「响」は「音が大きい、響き渡る」意味 / 口偏＋向(9画)で比較的簡明
     + 「大声」「響き」のニュアンスを内包するため、「响」を推奨。
6. sonor（音響（鳴り響く）、チン…などの鳴動）
   * sonor / 鸣 / 「鸣」は「鳴る」「響く」「(鳥が)鳴く」などの意 / 口偏＋鳥の簡体化形(8画)
     + 鐘やベルなど「鳴り響く」ニュアンスに近いため、「鸣」を採用。
7. son（音がする）
   * son / 音 / 「音」は「音・サウンド」の基本字 / (9画)でわかりやすい
     + エスペラントの「son」として、最も直接的に「音」を表す。
8. voĉ（声）
   * voĉ / 声 / 「声」は「声・ボイス」の意味 / (7画)で比較的易しい
     + 「音(son)」との対比で、「声(voĉ)」を区別するのに適した字。
9. tint（チンチンと鳴る）

* tint / 叮 / 「叮」は「チン」「ディン」という軽い金属音を表す / 口偏(5画)でかなり簡素
  + 「叮当(dīngdāng)」の「叮」部分を抜き出し、一字で軽い金属音のイメージをもたせる。

1. krak（パチパチ、パキパキなど鋭い音）

* krak / 咔 / 「咔」は「カッ」という硬い割れ音・スナップ音 / 口偏(8画)で比較的短い
  + 「咔嚓(カチャ)」など“何かが裂ける・折れる”ような音を連想する字。

1. susur（さらさら・さやさや・すずる音）

* susur / 沙 / 「沙」は本来「砂」だが、中国語で「沙沙」は葉や紙の“さらさら”音に用いる / (7画)
  + 「沙沙」などの擬音に使われるため、rustle音のイメージがしやすい。

1. sibl（シューシュー音・ヒス音）

* sibl / 咝 / 「咝」は蛇などの「シュー」という息漏れ音を表す / 口偏(8画)で比較的珍しいが的確
  + 「嘶(15画)」より画数が少なく、“ヒッ”という鋭いヒス音を単独字で示しやすい。

1. ŝmac（チュッ・ちゅっと音を立てる）

* ŝmac / 啵 / 「啵」はキスや軽い弾け音の「ポッ」「ボッ」を表す / 口偏(8画)で口関係の擬音
  + 中国語では「啵啵(bo bo)」が「ちゅっ」や軽い破裂音の擬音として使われる。

1. plaŭd（ばしゃり・ちゃぽんと水がはねる音）

* plaŭd / 哗 / 「哗」は「水流や水しぶき」の音(“シャーッ”/“ばしゃっ”) / 口偏＋华(8画)
  + 「哗哗(huāhuā)」で水の流れやはねる音を表す。

1. klak（かちかち・カチッというクリック音）

* klak / 哒 / 「哒」は「ダッ」「タッ」という軽い衝撃音・タイプ音 / 口偏＋达(9画)
  + キーボードの打鍵や軽いクリック音など「カチカチ」に近い表現に用いられる。

1. raŭk（しわがれ声の）

* raŭk / 沙哑 / 「沙哑」は「しゃがれ声」の意味 / 「沙」を再利用＋「哑」(計16画)で定訳
  + 一字で「hoarse」を表す漢字は存在せず、「沙哑」が一般的表現なので2文字熟語を割当。

1. flustr（ささやく）

* flustr / 耳语 / 「耳语」は「耳元で話す＝ささやき」の意 / (6画＋9画＝15画)の2文字熟語
  + 「低语」とほぼ同義ですが、「耳语」の方が“耳元でこっそり”感が強くわかりやすい。

1. zum（ブンブン・ブーンという音）

* zum / 嗡 / 「嗡」は「ハチなどのブンという音」「唸り」を表す / 口偏＋翁(13画)
  + 「嗡嗡(wēngwēng)」で「ブンブン」の擬音になる。

1. muĝ（うなる、咆哮する）

* muĝ / 吼 / 「吼」は「ほえる、うなる、どなる」意味 / 口偏＋孔(6画)
  + 「狮吼(ライオンの咆哮)」などに使われる字で、「うなり声」を広くカバー。

1. amnesti（大赦）

* amnesti / 赦 / 「赦」は「赦免・大赦」の意 / (11画)で一字に「赦す」ニュアンスを含む
  + 「大赦」は2文字だが、単独の「赦」だけでも“赦免”の意味を表せる。

1. venĝ（復讐をする）

* venĝ / 复仇 / 「复仇」は「報仇」とほぼ同義で“復讐する”意 / (复9画＋仇4画)＝13画
  + 一字では表しにくく、「复仇(復讐)」が最も定訳的。

1. kompens（補償する）

* kompens / 赔 / 「赔」は「賠償(補償)する」意 / 讠偏＋贝(10画)で比較的シンプル
  + 本来は「赔偿」がセットだが、「赔」単字でも“補償・賠償”の意味を持つ。

1. konsol（慰める）

* konsol / 慰 / 「慰」は「安慰(慰め)」「慰問」の核心字 / (15画)だが1字で“慰め”を表す
  + 2字「安慰」も候補だが、「慰」単独で十分“慰める”の意に。

1. kompat（あわれむ）

* kompat / 怜 / 「怜」は「可怜(哀れむ、憐れむ)」に使われる / (8画)で“憐れむ・同情”の意
  + 「怜悯」「可怜」などの語に含まれ、一字でも“あわれむ”ニュアンスがある。

pardon / 恕 / 「恕」は「許す・赦す」を意味し、饒恕・寛恕などにも用いられる字 / 単字で「許す」の意を表せる

* indulg / 宽 / 「宽(寛)」は「寛大」「寛容」「甘やかす」といったニュアンスを含む / 日本語の「寛」に対応し、画数も比較的少ない
* kondolenc / 悼 / 「哀悼」などに使われる字で、「弔う・悼む」の意 / 単字「悼」で哀悼の意味を示せる
* bedaŭr / 悔 / 「後悔・悔やむ」といった意味を直接持つ / 「pent(悔改)」との区別のため、こちらは「後悔」に近い「悔」を採用
* pent / 忏 / 「忏悔(懺悔)」の簡体字。「悔い改める、懺悔する」の意 / 日本語の「懺悔（懴悔）」にあたる語で、画数は比較的少なめ
* domaĝ / 惜 / 「惜しむ」「もったいない」「残念に思う」などのニュアンスを持つ / 日本語「惜しむ」にも対応し、意味連想がしやすい
* funebr / 丧 / 簡体字で「喪」の意。喪失・喪服・哀悼など「喪に関する」意味を持つ / 日本語「喪」の簡体形で、画数も少なめ
* sufer / 苦 / 「苦しむ、苦痛」のイメージが直感的に伝わる字 / 日本語・中国語いずれも「苦＝つらい」と連想しやすい
* toler / 忍 / 「耐える」「我慢する」の意味を直接持つ / 日本語でも「忍耐」「我慢」の連想が容易
* plend / 诉 / 「诉(訴)える」「诉苦(訴苦)＝苦情を訴える」など「不満を言う」の意 / 日本語「訴える」に相当し、比較的わかりやすい
* lament / 哀 / 「嘆き悲しむ」「哀れむ」の意味を持つ / 日本語でも「哀しい」「哀悼」などで連想しやすい
* kares / 抚 / 「撫でる」「愛撫する」の簡体字(日本語の「撫」の簡体形) / strok数(7画)もそこまで多くなく、「愛撫」を直接連想できる
* dorlot / 宠 / 「寵(ちやほやする・溺愛する)」の簡体字 / 日本語「寵愛」「溺愛」と対応し、甘やかすイメージが伝わりやすい
* kis / 吻 / 「口づけ、キス」を指す / 中国語で「吻」は「唇・キス」の意。日本語話者にも「口辺＋勹」である程度連想可能
* brak/um## / 抱 / 「抱く」「抱擁する」を意味 / 「抱く」と同源で、日本語・中国語ともにわかりやすい
* riverenc / 拜 / 「拝む・お辞儀する・拝礼する」の意味 / 「鞠躬(深いお辞儀)」などもあるが、画数を抑えて「拜」に統一
* salut / 礼 / 「礼儀」「挨拶・敬礼」を示す / 画数が少なく、日本語「礼」と対応
* kompliment / 奉承 / 「お世辞を言う・へりくだって褒める」意味の熟語 / 単字だと適切なものが少ないため2文字熟語で対応
* aplaŭd / 拍 / 「拍手する・たたく」の意 / 本来「拍手」は2字だが、「拍」単独で「手を打つ」イメージが伝わる
* aklam / 欢呼 / 「歓呼する・大声で歓迎する」の意 / 「欢(歓)＋呼」で「歓呼」。画数はそこそこだが他候補より直感的
* ador / 拜 / 「崇拝・礼拝する」の意 / すでに16番(riverenc)で用いたが、「拝む／崇拝」の意味をまとめて再利用
* laŭd / 赞 / 「称賛・褒める」の簡体字(旧字「讚／贊」) / 中国語では「点赞(いいね)」などにも使われ、わかりやすい
* admir / 慕 / 「慕う・憧れる・敬慕する」の意 / 日本語でも「慕う」で「admire」に近く、連想しやすい
* frand / 馋 / 「美食に目がない」「食いしん坊」など「美味をむさぼる」イメージ / 日本語では馋は馋(飢)に近いが、中国語の「貪り食う」感覚に近い
* gust/um## / 尝 / 「味見をする・試食する」の簡体字(旧字「嘗」) / 「品」「味」も考え得るが、「尝」が「試しに食べる」を直接表す

### 1) flat / 谀 / 「お世辞・へつらう」意味をもつ“谀”を採用 / 学習コスト：中程度

* 選定理由:
  + 「谀(yú)」は「阿谀（あゆ）＝おべっかを使う」の語にも含まれ、\*\*「へつらう」「おだてる」\*\*という意味が分かりやすい。
  + 日本語の「阿諛(あゆ)」の簡体字表記が「阿谀」なので、日本人も一応連想しやすい。
  + 画数は7画程度で中程度。
* 学習コスト:
  + “讠(言偏)”は他でもし使用するなら共通化が可能。
  + ただしやや馴染み薄い字のため、日本語話者向けには振り仮名などのサポートを想定。

### 2) tikl / 挠 / 「くすぐる」ニュアンス / 既出偏旁なし

* 選定理由:
  + 「挠(náo)」は「掻く・くすぐる・邪魔する」などの意で、\*\*“くすぐる(胳肢)”\*\*を比較的連想しやすい。
  + 「痒(yǎng)」だと「かゆい」の意が強く、「tickle(くすぐる)」より「itch(かゆみ)」に寄るため、「挠」を優先。
* 学習コスト:
  + 「扌(手偏)」＋「尓(〜儿)」の組み合わせ。画数はやや少なめ。

### 3) rav / 迷 / 「魅了する・うっとりさせる」イメージ / 学習コスト：低め

* 選定理由:
  + 「rav」は「うっとり・魅了する・酔わせる」というニュアンス。
  + \*\*「迷」\*\*は「迷う・惑わす・魅了する」の意があり、中国語でも「迷住(魅了される)」で使われるため適切。
  + 画数5画と少なく、学習コストも低い。
* 学習コスト:
  + 「迷(mí)」は初学者にも割と学びやすい部類。

### 4) amuz / 乐 / 「楽しませる・娯楽」 / (同字“乐”をほかでも使う可能性大)

* 選定理由:
  + 「amuz」は「他者を楽しませる・気晴らしをする」ニュアンス。
  + 簡体字「乐(lè)」は「楽しむ・愉快・音楽」など広い意味で\*\*“楽しさ”を表すため、「amuse」\*\*に近いイメージで使いやすい。
  + 画数5画と少ない。
* 学習コスト:
  + 日本語で「楽(ラク)」のイメージと直結しやすく、覚えやすい。

### 5) ĝu / 乐 / 「(を)楽しむ」 / 上と同じ“乐”を流用

* 選定理由:
  + 「ĝui(享受する・楽しむ)」と「amuz(楽しませる)」は動作の方向が異なるが、同じ「楽しさ」に関連するため、あえて同一の「乐」で兼用。
  + エスペラント学習者向けには、\*\*「乐¹(アムズ)」「乐²(ジュ)」\*\*のように上付き文字や注釈で区別する運用を想定。
* 学習コスト:
  + 既に「amuz」で“乐”を使っているため、新規負担は増えない。

### 6) regal / 宴 / 「ごちそうする・宴でもてなす」 / “宴”は今後の banquete 系でも活用

* 選定理由:
  + 「regal」は「(人に)ご馳走・宴席でもてなす」の意。
  + \*\*「宴(yàn)」\*\*は「宴会」の単字で、日本語でも「宴(うたげ)」として連想しやすい。
  + 招待・款待の意味を十分にカバーできる。
* 学習コスト:
  + やや画数(10画)あるが、\*\*“会食・晩餐”\*\*を示す上で分かりやすい。

### 7) fest / 庆 / 「祝う(祭り)」 / お祝い全般で使いやすい“庆”

* 選定理由:
  + 「fest」は“祝う、祝祭”的イメージ。
  + 簡体字「庆(qìng)」は「慶(けい)」の略字で、“祝う・慶賀する”の意味。
  + 画数6画と比較的少なく、日本語の「慶」にも通じる。
* 学習コスト:
  + 他のお祝い系(ben, gratul) には別字を提案しているため、混同があれば注釈で区別。

### 8) festen / 宴 / 「宴会をする・ごちそうを楽しむ」 / “宴”を再利用

* 選定理由:
  + 「festen」は「祝宴を開く・宴会をする」の意。
  + 既出の「宴(yàn)」を「regal(もてなす)」と同字で兼用可能。
* 学習コスト:
  + 新規漢字追加なし。

### 9) ovaci / 拍 / 「大喝采・拍手喝采」 / “拍”で掌を打つイメージ

* 選定理由:
  + 「ovaci」は「大喝采・盛大な拍手」。
  + 「拍(pāi)」は「拍手する」「手で叩く」イメージで使いやすい。
  + 画数8画。
* 学習コスト:
  + 手偏(扌)とは別に提案したが、割とメジャーな字。

### 10) hura / 呼 / 「万歳！歓呼する」 / “呼”で声を上げるニュアンス

* 選定理由:
  + 「hura」は「万歳！(歓呼)・歓声を上げる」。
  + \*\*「呼(hū)」は「呼ぶ・叫ぶ・声を発する」の意で、“歓呼”\*\*と親和性が高い。
  + 「欢呼(huān hū)」の後半にも当たる字なので、連想しやすい。
* 学習コスト:
  + 口偏(口)＋乎 で合計8画程度。

### 11) ben / 祝 / 「祝福する」 / おめでたい・神の加護を祈る意味

* 選定理由:
  + 「ben」は「(を)祝福する」。
  + \*\*「祝(zhù)」\*\*は「祈る・祝う・願う」で、「祝福」「祈福」の語に含まれる。
  + 画数9画だが、日本語でも「祝い」として比較的馴染みがある。
* 学習コスト:
  + 祝い関連として「fest=庆」「gratul=贺」と区別しつつ、学習がしやすい。

### 12) gratul / 贺 / 「お祝いを言う、(人に)祝辞を伝える」 / “祝贺”の「贺」

* 選定理由:
  + 「gratul」は「おめでとうと言う・祝賀する」。
  + 中国語「祝贺(zhùhè)」で使われる「贺」は\*\*“お祝い・祝賀”\*\*の主要漢字。
  + 画数8画でややシンプル。
* 学習コスト:
  + 「ben=祝」と合わせると、「祝贺」で「お祝い」を表現可能。

### 13) agac / 烦 / 「いらだたせる・うんざりさせる」 / 煩わしいイメージ

* 選定理由:
  + 「agac」は「不快にさせる・歯の浮く感じにさせる・イライラさせる」。
  + 簡体字「烦(fán)」は「煩わしい・うんざりする・悩ませる」意味を持つ。
  + 画数10画だが、中国語で「烦人」=「うっとうしい」のように使われる。
* 学習コスト:
  + 火偏(灬)＋页 の組み合わせ。やや複合的だが、比較的使用頻度は高い。

### 14) agoni / 死 / 「死の苦しみ、臨終の苦悶」

* 選定理由:
  + 「agoni」は「死の苦しみを味わう・臨終の苦悶」。
  + 単字で死を表す「死(sǐ)」が最もストレート。
  + 「苦痛」を示す「痛」「苦」では「死」にフォーカスできないため、「死」を選択。
* 学習コスト:
  + 画数6画で、中級学習者なら早期に習得。

### 15) dolor / 痛 / 「痛み・苦痛」

* 選定理由:
  + 「dolor」は「痛み・苦しみ」を広く表す。
  + 簡体字「痛(tòng)」は\*\*“痛む”\*\*を直接表現し、使い勝手がよい。
  + 画数12画と多めだが「疼」より知名度が高く、日本語でも「痛い」と対応。
* 学習コスト:
  + 病字頭(疒)＋甬の組み合わせ。比較的一般的な字。

### 16) ĥoler / 霍乱 / 「コレラ(病名)」

* 選定理由:
  + コレラそのものを示す単字は存在しないため、中国語での\*\*「霍乱(huò luàn)」\*\*を採用。
  + 日本語でも「霍乱」は古い表記でコレラを指す（現代では「コレラ」とカタカナが一般的）。
* 学習コスト:
  + やや画数は多め(「霍」16画＋「乱」7画)だが、病名なので仕方なし。
  + 単字割当の困難な例。

### 17) rabi / 狂犬病 / 「狂犬病(ラビィ)」

* 選定理由:
  + 「rabi」は「狂犬病(rabies)」そのもの。
  + 中国語では\*\*「狂犬病(kuáng quǎn bìng)」\*\*と表現し、最も分かりやすい。
  + 一文字で正確に示す手段がないため、3文字熟語とした。
* 学習コスト:
  + 「狂」「犬」「病」の3字はいずれも常用レベル。
  + 割当困難な医学用語の典型例。

### 18) histeri / 歇斯底里 / 「ヒステリー(hysteria)」

* 選定理由:
  + 中国語でヒステリーは慣用的に\*\*「歇斯底里(xiē sī dǐ lǐ)」\*\*と音訳風に書く。
  + 単字化はほぼ不可能なので、この4文字表現をそのまま採用。
* 学習コスト:
  + 画数合計が多くなるが、医療系用語ゆえ仕方ない。
  + 日中ともカタカナや拼音で補足説明してもよい。

### 19) radikal / 激进 / 「急進的な・ラジカル」

* 選定理由:
  + 政治的な「ラジカル(急進)」は中国語で\*\*「激进(jī jìn)」\*\*が代表的。
  + 単字だと「激」や「进」だけではニュアンス不足なため、2文字熟語を選択。
* 学習コスト:
  + いずれも使用頻度の高い漢字。
  + 「激(14画)」「进(7画)」合計21画でやや多いが、概念を正確に表す。

### 20) akr / 利 / 「鋭い・鋭利な」 / 「シャープ」な意味

* 選定理由:
  + 「akr」は「鋭い・鋭敏な」というニュアンス。
  + 「利(lì)」は「鋭い刃物」「利益」など多義だが、「鋭い」という意味を含む（“鋭利(利刃)”）。
  + 画数7画で比較的シンプル。
* 学習コスト:
  + 日本語の「利く(きく)」=「鋭く働く」のイメージとも通じる。

### 21) akut / 尖 / 「鋭角の・先端が尖る」 / “尖った”形状

* 選定理由:
  + 「akut」は「鋭角的な・急性の」など、「尖った角度」を連想させる。
  + 単字「尖(jiān)」は「先端が鋭い」を直接表す。
  + 「锐角」は2文字だが、単独の「尖」でも\*\*“鋭角・尖る”\*\*のニュアンスが出やすい。
* 学習コスト:
  + 画数6画と少なく、印象的な形。

### 22) serioz / 严 / 「まじめな・厳粛な」 / 後述のsever, rigorとも使い回し

* 選定理由:
  + 「serioz」は「真面目・深刻・厳粛」の意。
  + 簡体字「严(yán)」は「厳・深刻・重大」の意味合いを広く含むため、適度に対応。
  + 「sever」「rigor」など「厳しい」系統とも重複割当して学習コスト削減。
* 学習コスト:
  + 画数7画。「厳」の略体として日本語話者も推測しやすい。

### 23) sever / 严 / 「厳しい・厳格な」 / “serioz”と同字再利用

* 選定理由:
  + 「sever」は「容赦なく厳しい、苛酷な」の意。
  + 「严」は「厳(げん)」の略字で、「serioz(まじめ)」との類縁性が強い。
  + 同字割当により、区別は注釈や上付き文字等でカバー。
* 学習コスト:
  + 既に「serioz」で採用しているため、新規負担なし。

### 24) rigor / 严 / 「厳格な・厳密な」 / 同じく“严”で使い回し

* 選定理由:
  + 「rigor」は「厳密・厳格・厳正さ」を表す。
  + 「sever」「serioz」と同系列なので、「严」で統一可能。
* 学習コスト:
  + ここも新規負担なし。3語根が同一漢字で表現される。

### 25) sarkasm / 讽 / 「辛辣な皮肉・風刺」 / 皮肉・嘲弄

* 選定理由:
  + 「sarkasm」は「辛辣な皮肉・サーカズム」。
  + 中国語で「讽刺(fěng cì)」が最も近く、単字「讽(fěng)」は「皮肉・風刺」を連想しやすい。
  + 画数6画で比較的少ない。
* 学習コスト:
  + 言偏(讠)＋风。すでに言偏や风が出ていれば共通化可。